



同窓会報



◆ 発 行 ◆ 宮城県仙台第二高等学校同窓会 〒980-8631 仙台市青葉区川内澁橋通1 ☎ 221-5651(直通)
 ◆ Eメール ◆ qqnt4329@wonder.ocn.ne.jp
 ◆ 印 刷 ◆ 創文印刷出版株式会社 〒980-0821 仙台市青葉区春日町8番34号 ☎ 222-0181

第 48 号



平成27年4月27日 大運動会のマスゲーム

目次

巻頭言..... 2

支部総会・同期会等開催報告、寄稿..... 3

創立記念講演会..... 13

支部OB会連絡先..... 14

平成27年度年間行事予定、評議員名簿、
理事会等記録、イベント報告、PT同窓のご案内..... 16

平成27年度同窓会総会のご案内..... 20

会費納入について、納入額ベスト10、
平成26年度同窓会費納入状況..... 21

理事会からのお知らせ..... 22

過去三年間の大学入試合格状況..... 24

部活動の記録／運動部成績..... 25

会員計報..... 31

今春の人事異動、メーリングリストの利用について、
交通の便、編集後記..... 32

巻頭言

「文武一道考」

同窓会長



大井 龍司 (高10回)

り、そのためには、高校生活三年間の人間教育が重要な鍵を握ることになる。

このところ母校の同窓会活動がかなり活気を取り戻すなか、諸々関連の場で「文武一道論」をよく耳にする。そこで本巻頭言では、その文武一道について小生の理解するところを述べ、文武両面での母校の現状に触れてみたい。本論に入る前に確認しておくべきことがある。それは母校仙台二

高は単に大学受験のためだけにあるのではなく、その教育現場においては、勉強のみならず心身共に訓育する、つまり全人的教育がなされ、優れた人材を世に送り出す使命を持つ学園であるということである。これは生徒諸君だけではなくその保護者の理解も必須であり、また教官各位はその方針で日頃の指導にあたってくれているものと信じている。人生の最終目的は、どの大学に進学するかなどではなく、その人間が将来人類や社会にどう貢献するかということであ

さて「文武一道」、これを知らない母校の同窓生は居ないだろうが、言わずもがな(旧)仙台二中、明治三十六年卒(中3回)、講道館十段、三船久蔵大先輩が世に残された名言である。母校の講道館には氏の揮毫による文武一道の書が掲げられており、また校内中庭には、創立百十周年記念事業の一環、校内環境整備基金により建造された文武一道記念碑(写真)が設置されているので、同窓生諸氏には是非一見を勧めたい。

他方「文武両道」という文言があり、むしろこの方が人口に膾炙しており、その解釈も分かりやすい。つまり文事と武事、その両道に努め、秀でていることを指し、古来からも良く耳にする文言である。平家物語・巻第九に「あな

いとほし、武道にも歌道にも達者にておはしつる人を、あつたら大将軍を、とて涙をながし袖をぬらさぬはなかりけり」とあるが、まさに文武両道を極め、一の谷合戦で討ち死にした平清盛の末弟、薩摩守忠盛(歌集：忠盛集を残している)を悼むくだりである。また

さしづめ、剣だけでなく絵画や書にも通じる宮本武蔵をも文武両道人と呼ぶむきもある。さらに若き吉田大次郎(後の松陰)は、九州遊学後その報告を兼ねて藩主毛利敬親公に上申した「文武稽古万世不朽の御仕法立気付書」の冒頭で「文武両道の教養が必要であり、この両道の完備は万世変わることのない教育の要諦である」と述べている。諸氏周知のごとく、これら諸々が転じて現代では、「勉学と運動(スポーツ)の両面に秀でること」を意味するようになって

また史記・孔子世家に見られる「文事アル者ハ必ず武備アリ」との文言を「文武は一体である」と解釈して、よく文武両道の喩えのように言われている。しかしこれは、そもそも斎・景公と魯・定公との「夾谷の会」にあたって、孔子が主君の定公に「その会見には精兵を連れていくべきです」と直言し、定公を亡き者にしようとする斎の謀略を未然に防ぐため戒心を促がしたものであった。従って「文(外交交渉)を事とする際には、必ず武(軍備)を備えておかなければならない」という主旨であり、その意味するところは本来の文武両道とは異なるものである。

しかるに文武一道はこの文武両道とは明らかに異なる文言である。これは「学問も武芸も同じ道、そのどちらにも同じ必要不可欠な要素が存在する」ということである。一方江戸時代初期の陽明学者、中江藤樹は、文武一道とは「文と武とは元来一徳であって分かつことはできない。従って武なき文、文なき武はともに真実の文ではない、武でもない」と些か異なった解釈をしている。再度宮本武蔵を登場させるが、吉川英治氏は名著「宮本武蔵」で、その身を老杉の梢に縛められている青年武蔵と、木の傍らにある石に腰を下した沢庵和尚との間で

「文武二道というが、二道とは、ふた道と読むのではない、ふたつを備えて、一つ道だよりわかるか武蔵」と、つまり文武は一体であるということ、学問が武蔵を論している。その武蔵が、幾多の艱苦の修行の時を経て「剣と人倫、

剣と仏道、剣と芸術、あらゆるものを一道と観じれば」との信念に至っている。

さて話を転じて、大先輩、三船久蔵先輩の金言を享けた母校の生徒達の現状に触れることにし、まずはここに一つのデータ(二〇一四年十一月現在)を示す。
①現在校生生徒数九六二人(うち男子五八三人：61%、女子三七九人：39%)、②運動部在部生徒数六二九人(うち男子四三二人：



男子生徒中74%、女子一九七人：女子生徒中52%）、③文化部在部生徒数三二九人（うち男子一五六人：男子生徒中27%、女子一七三人：女子生徒中46%）でクラブ活動在部率は99.6%、非入部者生徒は僅か四名のみである。このデータは、学校側が入部手続きを執ることを原則としていることもあり、また所謂「幽霊部員」がいるとは思われるが、少なくとも大多数の在校生徒が勉学のみならず部活に何らかの形で関わっていることを示している。

さらに話を進めて文武両面における最近の実績を見てみよう。まずは「文」、週刊誌等でも紹介されているのでご承知の諸氏もあるだろうが、後輩たちは資質に大変恵まれているうえに母校の教育目標である「至誠業に励み」を真摯に実践することにより、極めて傑出した実績を挙げている。ネット上のある試算による著名大学進学率を見ると、公立高校では全国第六位にランクされるとか、東北地方では勿論首座を占めており、ライバル仙台一高をはじめとして他校の追隨を許していない。しかしこの事実のみで「雄大剛健の風を養い」との教育目標に叶うものでないことは論を待たない。「武」の方はどうであろうか。「武」を勉学以外の活動とすると、文化面と運動面とに区別して見る必要がある。文化部活動は、これ

も素晴らしい実績がみられている。一昨々年の将棋部の全国高校将棋選手権大会女子個人優勝、一昨年の化学部のインテル国際学生科学技術フェア米国大会二位、昨年は囲碁部の全国高校囲碁選手権で並み居る強豪校を破って団体優勝、科学部の高校生科学技術チャレンジ最優秀賞など、これらの快挙は母校、同窓生の誇りとするところである。一方運動部の実績はと見ると、残念ながら必ずしも期待に込められているとは言えず、赫々たる実績を誇る母校同窓生間では切齒扼腕の声をよく耳にする。しかし中には、昨年の水泳部の国体少年男子B50m自由形四位、馬術部の全日本高校馬術選手権男子総合三位、その他インターハイや国体に出場するなど立派に活躍している運動部もあるにはある。とはいえ、それらは総じて卓越した能力を持つ生徒による個人競技種目に限られ、団体競技、例を挙げれば硬式野球部、58年以上出場を果せないでいる甲子園大会出場（過去三回：大正14、昭和22&31）などは「夢の又夢」と言わざるを得ない。さらに最近では、体力面でハードな運動部（柔道部、ラグビー部など）への入部者が極端に少ない傾向があり、これも大変残念なことである。

ところで、しばしば母校を訪れて彼ら彼女らが懸命に部活に励んでいる姿を垣間見たり、また対一

高の硬式野球部定期戦や三部（柔道、排球、籠球）定期戦では、相手選手より体力・技術が劣っているにも拘わらず、母校の名譽を掛け、また己の日頃からの鍛錬の成果を試そうと懸命に闘っている選手達の姿を目の当たりにすると、生徒諸君は武の面でもよく頑張っているのではないかと思わされる。つまり生徒達の多くは、文武を共に努力しており、たとえ文武両面で秀でることがなくても、まさに文武一道を実践しているものと考えた。

以上から、本稿後段の結論を「とりあえず」「現在の母校仙台二高は文武両道校ではないものの文武一道校ではある」ということにする。しかし同窓生諸氏からは「些か評価が甘過ぎるのではないか」とのご批判があることが十分に予想され、結論を「とりあえず」とした理由がそこにある。実際には「仙台二高は文武両道校として、文のみならず武でも秀でた母校であってほしい」というのが、多くの同窓生の本音であろう。小生も然り、従って後輩諸君には現状に甘えることなく、とりわけ武の面でより一層の奮起を促すとともに、それによって将来、学術領域や実業界のみならず、芸術・文化、スポーツ等のあらゆる分野において中心的役割を果たす傑出した人材が、母校から多数輩出することを切に願うものである。

支部総会等開催報告

ニューヨーク支部

且 英夫（高20回）

春の気配がやっと訪れた三月二十四日、第二回NY支部同窓会をマンハッタンの日本料理店で行いました。ニューヨークの地において、同じ高校で学んだ青春時代を懐かしく語り合うことができた本当に楽しいひとときとなりました。入学式、定期戦、応援歌、クラブ活動そして先生方の思い出・・・異なる時期に在校した同窓生五人ですが一瞬にして共鳴しあい、心は海を越えて「青葉の



山、広瀬の流れ」に戻ったように思います。大井会長からの心暖まるメッセージもいただきました。その中で、渡邊校長が「海外に広く目を向けよう」と生徒たちを励まされていることを改めて知り、我々もできるだけの協力をして生徒諸君を助け、将来のNY会員増加に繋げようと話しました。最後に個室に移り、校歌、雨か風か、勝利の歌そして凱歌を熱唱して楽しい会を終えました。

出席者
白田正樹(68年卒)、福永龍美(70年卒)
蓼原祥太郎(86年卒)、三浦理寛(93年卒)
且 英夫(68年卒)

関西北陵会

川幡 公章（高26回）

二〇一五年三月十四日（土）大阪中央電気倶楽部にて第十七回関西北陵会を開催いたしました。

仙台二高から渡邊幸雄先生、同窓会本部から鈴木邦夫副会長、村上二朗事務局長を迎え、関西在住会員十四名、関西地区の大学に進学中の学生一名、合計十九名が総会・懇親会に参加いたしました。

総会は、校歌斉唱、東日本大震

災追悼及び物故者 三崎栄治様 (高4回) の御冥福をお祈りしました。

麻喜宏雄会長の開催の挨拶、御来賓の鈴木副会長から仙台二高同窓会の概要説明、渡邊校長から母校についての御報告を頂きました。

仙台二高は、大学進学実績はもとより、インターハイや国体への出場、高校囲碁の選手権の男子団体優勝、第十二回高校生科学技術チャレンジ (JSEC II ジェイセック) における大臣賞受賞等、母校生徒の皆さんの文武にわたり活躍がしているとの事でした。非常に頼もしく、嬉しく思いました。

その後、日26年度の決算報告、世話人の選任、会計報告などが行われ、原案通り承認されました。懇親会では、村上事務局長から仙



台二高学生の『第一学年&第二学年 ハイスクールライフ現状と意識度アンケート』の調査結果報告があり、現役学生の思いが紹介されました。

また、各人五分程度の近況報告と今回は参加出来なかった方からのメッセージ紹介を行い、旧知の皆さんが、それぞれ元気に活躍されている事を確認する和やかな会合となりました。

関西北陵会では、近年 関西地区の大学へ進学した学生さんの連絡先を紹介頂き、本会への参加をお誘いしています。

二年前の関西北陵会に参加したモンタニユ・ミチエル・ルイス君 (京都大学4回生) は、当時の天江喜七郎 (高14回) 会長から、日米学生会議の存在を教えてくださいました。昨年は、これをきっかけに学生会議に参加し、貴重な経験をすることが出来たとの報告がありました。

また、ルイス君から 京都大学の現役大学生を対象とした仙台二高会設立の提案があり、四月二十七日に第一回開催の準備を行いました。残念ながら、現役の皆さんとの連絡がとれず成立しませんでした。別の機会に開催したいと考えております。

現役大学生のネットワークが確立することにより関西北陵会が身近なものとなれば、当会の活性化に繋がるものと思います。皆さん

の積極的な参加をお願い申し上げます。

本年三月十八日 関西北陵会の初代会長 木川田一郎さんの訃報の連絡がありました。本会の設立にあたり、全面的にご尽力頂いた方をなくした事は、非常に残念です。御冥福をお祈り致します。

東海北陵会

千葉 善根 (高9回)

第十九回総会・懇親会

平成二十六年十一月八日に、名古屋市内で第十九回東海北陵会の総会・懇親会が開催された。

渡邊校長先生と、大井同窓会会長、村上事務局長の三名をお迎えし、高8回〜高32回の皆さん、計十八名が参加して、総会・懇親会が開催された。

総会の議題は、決算報告、役員選任、会勢報告などがあり、いずれも、原案通り、承認された。

千葉会長の挨拶に引き続き、大井会長の挨拶と「仙台二高同窓会の概要」の資料をもとにした同窓会の活動の紹介があった。

会長就任後、色々の改革 (新しい支部の開設、会報の刷新、ニュースレターの発行、北陵祭への参加等) を行ってきた。

但し、会員の年会費の納入率が未だ低い。いろいろな手段で、納入率をアップしたい。これからも、

東海北陵会の協力をお願いしたいとの事であった。

更に、渡邊校長先生から挨拶と、パワーポイントを使った詳細な校内活動の紹介があった。昨年、SGH構想に、率先して手をあげたと報告したが、残念ながら採用されなかった。しかし、今後も更に成長し、素晴らしい仙台二高にして行きたい。特に、多彩な人材を育成していきたい。

特に今年は東大合格者の増加や、インターハイに十一名が出場した事、囲碁の全国優勝等が特筆される。・・・等の紹介があった。

また、「北陵の四季」、「平成二十六年度仙台二高概要」などの資料も全員に配布され、理解を深める事ができた。

今回、初めて蕎麦屋での総会を企画したが、従来の会議室での出し弁当とは異なり、次々に出される料理を堪能しながら、和やかな歓談が進められ、会場の変更は好意を持って受け入れられた様である。

懇談の途中、話題提供として、高8回の久保さんから、「現代社会の落とし穴は」「高齢者の生き方をどう読むか」と題した資料が配付され、高齢者になったが、できるだけ生き甲斐を持ち、幸せに生きて行こうとの提案がなされた。

懇親会の最後には、元応援団長の工藤さん (高32回) のエールと指揮のもと、全員で「雨か嵐か」



総会会場で

「勝利の歌」、「凱歌」と「校歌」を歌い散会した。

その後、有志による二次会が、近くのスナックで行われた。ここでも、色々の懇談が延々と続き、平成二十六年度の有意義な総会・懇親会を終了した。

美術館観賞と古戦場の散策

会計幹事の野田さん (高19回) の企画で、平成二十七年二月二十五日に有志会員による行事が行われ、十二名が参加した。

先ず、長久手古戦場散策と資料館見学を行い、羽柴軍と織田・徳川連合軍との戦いが、我々が住んでいる、こんなに近い所で行われた事に衝撃を受けながらも、複雑な戦いの説明を聞きながら理解を深める事ができた。

次いで、近くにある名都美術館に移動し、「太陽と月のしらべ」

展を観賞した。観賞に先立って、美人の学芸員から日本画の魅力についての説明を受け、その後、川合玉堂や横山大観など著名な画家の名画を詳細な説明付きで堪能し、限られた時間ではあったが、有意義な半日を過ごす事ができた。

行事終了後、近くの蕎麦屋で飲み放題の懇親会が行われ、総会だけでは話し尽くせない話題で盛り上がり、散会した。以上



美術館の中庭を背景に

福島北陵会

阿部 力哉 (高3回)

以前に二中、二高同窓会報に福島北陵会の成り立ちや現状について報告しましたように、毎年二回の会を行っています。夏には福島

市内での総会・懇親会と、来年には郡山市内での忘年会とです。前に述べたように最近個人情報制限などから新しい参加者を知るのが難しく参加人数が減少の一途を辿っています。

平成二十六年度は七月五日の仙台の総会時に「震災三年を経て福島(南相馬市)の今」と題して福島在住の三人の同窓生からの発表がありました。その際に一週間後(七月十二日)の福島北陵会への出席を約束してもらいました。そのため若い人の人数が増えて十七名(高3〜38回生)の久しぶりにぎやかな夏の会となりました。

一方、年末の福島北陵会は郡山市のホテルバーデンで十一月二十九日に行われました。参加人数は少なかったのですが、大井龍司会長の初めての御出席をいただき、同窓会に対するみなみならぬ熱い情熱が感じられました。この会には同伴夫人が加わって、大いに盛り上りました。

以上昨年度の福島北陵会について報告しました。

福島県は地震・津波に加えて放射線障害があって、その復興は複雑で他の被災県に比べて大幅に遅れています。県内テレビなどのニュースは毎回、次々におこる原発事故とその処理に関する暗い内容のものが主体です。現に故郷を遠く離れて暮らす人々が大勢いて、自宅にいつ帰れるかどうかさ

え判らない現状です。

春爛漫の今、帰還困難地内で、以前と変らぬ美しい桜を咲かせているように、二高同窓会では年齢の違いにかかわらず共通のなつかしい話題に花を咲かせたいものと念願しております。

福島県内在住の同窓生の方々の御連絡をお待ちしております。

連絡先 益田 芳幸

福島県丸子字沢目一七一三

電話 024-554-5920



山形北陵会

粟野 学 (高26回)

平成二十六年七月二十七日、ホテルメトロポリタン山形において、山形在住の十三名の同窓生が集い、山形北陵会発会式を開催いたしました。本部からは大井龍司

会長、渡邊幸雄校長先生、柗澤慶悦副会長、前野文男理事、村上二朗事務局長の五名の方々よりご来臨いただき、念願の山形県支部発会式を盛大に執り行うことができました。

総会は議事に先立ち、事務局より役員選出の案を提示させていただき、原案通り会長に仙道富士郎(高9回)氏、副会長に阿子島功(高14回)氏、柴田津與志(高15回)氏、顧問に庄司信哉(高1回)氏が選任され、代表して仙道会長よりご挨拶いただきました。その後は仙道会長を議長として議事に入り、会則の制定等原案通り承認され、議事は滞りなく終了いたしました。

議事終了後、ご来賓の皆様を事務局より紹介させていただきました。代表して大井会長よりご祝辞を頂戴いたしました。以前から山形県支部の創設に熱意を注いでこられた大井会長のお言葉を拝聴し、支部としてますます期待に応えねばならないという強い想いを胸に抱いたところでありました。

総会後、全員で記念撮影を行い、祝賀会へ移りました。齋藤聰(高29回)氏が司会を務め、まず、渡邊校長先生より二高の近況報告を含めてご挨拶いただきました。センター試験での優秀な成績や、部活動での各大会における輝かしい実績等、後輩達の文武両道の活躍ぶり



に、会員一同大変誇らしい気持ちになりました。

そして、庄子信哉(高1回)氏の乾杯のご発声で、祝賀会が華やかにスタートし、和やかな歓談の後、柗澤副会長より「仙台二高同窓会の概要」「北陵の四季」等の資料が配布され、同窓会活動の説明をいただきました。また、その後には参加者の自己紹介と二高での思い出を語る時間を設けましたが、楽しかったこと、辛い経験、仲間との絆等、青春時代を思い出しながら話す表情は一樣に明るく、年月が経った今でも学び舎での思い出が色褪せることなく心に刻まれていることを物語っていたようです。

最後に、全員で校歌を斉唱し、阿古島功(高14回)氏の閉会の辞をもって散会となりました。

「山形北陵会」はこの度の発会式に出席なされた十三名を含め二十二名で歩きだしたばかりです。今後活動を盛り上げていくためには、多くの方のご賛同、ご協力が不可欠となります。次回の開催時には更に多くの山形在住の同窓生にお集まりいただき、ともに母校の更なる発展への期待と希望を分かち合い、絆を深めてまいりたいと思っております。

出席者

庄司信哉（高1回）、塚本長（高3回）、小家盛男（高5回）、早坂茂（高6回）、仙道富士郎（高9回）、阿子島功（高14回）、柴田津與志（高15回）、堀田俊彦（高16回）、加藤良清（高18回）、齋藤聰（高26回）、粟野学（高26回）、榎森茂（高29回）、齋藤健（高41回）

巨理会活動報告

小関 勝祥（高15回）

かねてから要望のあった母校見学会を有志参加で行いました。校地内の樹木が紅葉の時期、二十五年十一月二十四日（日）九時半～午後二時。参加者は十六名、二名は現地でご合流しました。昭和五十九年に改築された校舎は、平成十九年にさらに男女共学に対応し、社会状況に呼応する施設設備を備え、現役諸君が高校生生活を満喫できる環境でした。私達が過

ごした当時のものを随所に見つけ、懐かしく感じました。柔道場では自分の名前を見つけて懐かしんでいる姿もありました。参加した会員はそれぞれに母校の姿を目に焼き付け、心が満たされた見学会となりました。私達のために貴重な日曜日にも拘らず学校経営のご説明と校舎、講堂、体育館をご案内いただきました渡邊幸雄校長先生に深く感謝申し上げます。

二十六年度の定期総会は十月四日（土）巨理町「二の丸」で開催。会員四十一名のうち二十四名が参加しました。渡邊幸雄校長先生、同窓会理事前野文男様、同窓会事務局長村上二期先生にご臨席いただきました。懇親会は佐藤修喜氏（中47回）の乾杯に始まり、来賓の方々から、同窓会の状況や母校の躍進について、「北陵の四季」を使って詳しく紹介いただきました。また、出席会員が近況を報告し合い、和やかな会となりました。東日本大震災から四年、全国からの多大なご支援により、ゆっくりではありますが復興が進んでいます。巨理島の海温泉やいちご農園が再開されました。海岸線の新しい堤防の建設工事が急ピッチです。他県からの工事車両が息つく暇もなく行き来しています。交通の核となるJR常磐線は、巨理駅から浜吉田駅まで開通しました。さらに山下、坂元、新地駅舎が高架化され国道寄りに移動して建設

される工事が進んでいます。一方で、復興住宅への入居が始まり、地元地域に活気と連帯が戻ってきました。今後さらに復興が進むようにと願っております。

北陵ドクター倶楽部

菊地 徹（高35回）

「北陵ドクター倶楽部」

設立総会開催される。

平成二十六年七月十三日（日）、午後五時。江陽グランドホテルにおいて「北陵ドクター倶楽部」設立総会が開催された。或る日の「北陵会」の懇親会で

なった。そして、半年にわたる準備期間を経ていよいよ総会当日を迎えた。鶴飼先生の司会進行で開会。大井先生が開会のご挨拶に立たれ、当会の設立の趣旨についてご説明された。

その後、現在仙台市医師会代議員会で議長をお勤めの今井克彦先生（眼科、高9回）が議長に選出され、協議に入った。

第一号議案「会の名称について」は、満場一致で「北陵ドクター倶楽部」に決定し、予め用意してあった濃紺の地に校章と会の名称とを白抜きした「倶楽部旗」が会場正面に堂々と掲げられた。

第二号議案「会則について」も異議なく承認された。続く第三号議案「会長選出」であるが、事務局より世話人会の意向として前仙台市医療センター仙台オープン病院院長の山崎匡先生（消化器外科、高12回）を推薦したい旨説明があり、これも異議なく承認され山崎先生が初代会長にご就任された。

副会長には、五十嵐章先生（産婦人科、高13回）、本郷道夫先生（消化器内科・心療内科、高19回）、徳村弘実先生（消化器外科、高22回）の三名が選出された。その他の役員は、幹事に鈴木晋介先生（脳神経外科、高26回）ほか五名、監事に今井克忠先生（泌尿器科、高15回）ほか二名、顧問には安田恒人先生（精神科、中45回）ほか五



発足記念総会 平成26年7月13日 於、グランドホテル江陽

名の先生方が推挙され、一同登壇の上、紹介を受けた。最後に五十嵐副会長の閉会のご挨拶で設立総会は滞りなく終了した。

会場を移して記念撮影が行われた。経費節減の観点から安田先生が自らの一眼レフのシャッターを切った。

さらに会場を移し、本郷副会長の座長のもとで特別講演会が挙行された。

来賓の渡邊幸雄校長（高26回）から二高の近況を、柊澤慶悦同窓会副会長（高21回）から同窓会の現況をご講話頂いた。小生の同級生にも医師は多いが、近年の二高生はさらに輪をかけて医師を志す生徒が多いらしく、医学部を目指す生徒の同好会のようなものがある。

ることには驚いた。

いよいよ、待望の懇親会。校歌斉唱そして山崎会長の挨拶で開宴。渡邊校長と柘澤同窓会副会長よりご祝辞を賜り、引き続き、安田先生による乾杯のご発声。さすがに大先輩、一気にあちらこちらで高校時代の思い出話に花が咲いた。

楽しい時間の過ぎるのが早いことは世の常ながら、何時しか華やいだ雰囲気うちに懇親会もお開きの時間となった。

かつて応援団幹部であった野口光徳先生（消化器内科、高31回）、嶋原康先生（形成外科、高34回）、そして菊地達也先生（消化器内科、高37回）の三名による旗振りに合わせて「雨か嵐か」、「勝利の歌」を高らかに歌い上げ閉会となった。

来る平成二十七年八月二十二日、第二回総会が執り行われることが決定している。

なお本会への入会或いは情報提供を希望される方（とりあえず宮城県内）は、北陵ドクター倶楽部、鶴飼克明事務局長（e-mail:hokuryo.dr@gmail.com）までご連絡下さい。

昭和26年卒・首都圏同期会

森 郷巳（高3回）

台風十八号で中止を余儀なくされたが、改めて二十六年十二月



十五日・JR新橋駅近くの第一ホテル東京で開催の運びとなった。仙台から高橋正道・木村正武両君の参加もあって十八名の出席。初めに二十六年に亡くなった大泉邦彦・栄谷嘉恭・佐藤雄一・高橋晃四君のご冥福を祈って黙祷。次いで恒例の冒頭スピーチで大谷和正君の「このままで日本の財政再建は可能か、またその秘策はあるのか」は限られた時間にも関わらず、しっかりしたわかりやすい論理の展開であった。会食と各人の近況報告のあと、三卒喜正君紹介のハープ奏者の藤枝貴子さんのアルパ（パラグアイの民族楽器）使用の演奏で仙台二高校歌を斉唱。続いて「花が咲く」「広い河の岸辺」などに耳を傾け楽しい充実した会であった。

仙台二高三三会

平山 長篤（高10回）

「仙台二高三三会」は昭和三十三年に卒業した高10回生の同窓会です。

三三会の第一回の開催は、卒業から二十年を経た昭和五十三年八月十二日でした。場所は青葉通りと一番町の角にあった「ひらつか・龍鳳苑」中華のレストラン。初代の幹事は山形嘉徳くんと後藤広司くんでした。

お二人の幹事役は数年続き、その後七回目からは、クラスごと二年間の当番となり、現在まで続けられています。

また、同好会活動も盛んで、二十六回目の開催に当たる平成十五年から「ゴルフ倶楽部」と「囲



碁懇親会」がスタート。ゴルフコンペは三三会懇親会の前日、囲碁大会は当日開催され、懇親会の中で表彰式が行われました。

仙台二高三三会の開催運営が順風満帆で続けて来られたわけではありません。

会員の構成が昭和三十三年卒業の同級生という事を原則にして来たために、約三〇〇名強の同窓生に通信連絡を行って来ましたが、その通信費が財政的な負担となり、平成二十一年頃には会の経理が赤字号を発するようになっていました。平成二十二年に緊急世話人会を何度か開いて、過去の三三会を解散し、新しい登録会員制の組織にすることを決めました。

会員を希望する人は、年会費千円を振り込んでもらうことにしました。その結果、三〇〇名の会員

が一二〇名程度に減り、財政的な不安も解消することになりました。

現在の会員数は、一一〇名でこの人数には「東京三三会」や「名古屋三三回会」の会員も含まれています。来年には「喜寿」を迎える年令に達して、近年は亡くなる方も増えて来ております。

今年も、秋に開催が予定されていますが、お互いの無事を確認し、楽しいひと時を過ごしたいものです。

東京三三会

赤間 祐男（高10回）

東京三三会は、昭和三十三年卒業生が、東京を開催地として、応援団長の故斎藤紘君以下六名が発起人となり、昭和五十七年九月に発足しました。

今年十一月一日に、第三三回を新宿プリンスホテルにて開催し、四〇名前後の出席で毎年新たな同期会を重ねています。

当三三会は、代表幹事、山形紘、和地一紀、日野克、伊藤英治、赤間祐男の四人の常任幹事と毎年交代する三人の当番幹事で運営しています。

社会人現役時代に各分野において、研鑽・蓄積した実体験の知恵と情報のテーマにした講話を、三三会内の講師を選び披露して



貰っています。

三一回は、当会の代表幹事の山形絢君（現役外科開業医）から「日頃の患者を診ての健康注意点」と題して貴重な話を伺いました。

昨年第三二回では、昭和三〇年度NHK合唱コンクール全国大会で第三位入賞（創業以来初）の元合唱団五名が校歌に続き、東日本大震災の話題曲「花は咲く」を、犠牲者の方々の供養と被災者の早い復興を願い、男声四部コーラスの音頭にして全員で斉唱しました。

我々二年次の昭和三二年夏の甲子園大会に出場（史上三度目）し、ベスト八まで駒を進めた実績は、全校生の応援団の声援を受けて、血気盛んな青春時代のエネルギーを集めた結果でありました。

一方、堀見武義君の音頭で三三

会ゴルフコンペとして年一〇回、（二回は知多半島師崎に一泊二日連続プレイ、二回は栃木一泊二日プレイ）健康第一をモットーに、ゴルフ競技で競い合っています。

最後に、応援副団長の山形絢君のリードで、凱歌を声高らかに歌い、名カメラマン伊藤英治君による恒例の記念撮影で終了しました。

我々三三三三が社会人になった一九六四年は、我国経済の高度成長の最盛期で、東京オリンピックの競技の熱戦に興奮した記憶が未だ鮮明です。その感動を六年後のオリンピックで再びとそれまで、「健康長寿」で、毎年三三三三に集合することを誓い散会しました。

以上

名古屋三三三会

佐山 泰弘（高10回）

名古屋三三三会の活動は、ゴルフ十懇親会活動が全てである。

事の発端は、二十年以上も前に遡るが、仙台で行われた三三三会総会に、たまたま中京・関西地区から四名が参加し、二次会で同席した事から始まる。高橋伯君（D組）、大浦克彦君（E組）、多田恭憲君（D組）と小生（A組）の四名であった。当時名古屋地区勤務だった高橋君と小生が交互に当番で、ゴルフ場と懇親会場を確保し、関西勤務の

両君を招き、ゴルフ・懇親会がスタートしたのである。その後、東京三三三会で交流があった赤間祐男君（B組）や、桜井端君（E組）も名古屋でゴルフを一緒にやろうとの声が上がリ、折角遠方まで交通費を出してプレーするならば、たった一日だけでは勿体ないとの意見が多く、現在の様な二日間のゴルフと初日の夜の懇親会とのセット活動が定着したのである。

定年後仙台に戻られた桜井君と三井肇君（E組）も朝一番のフライトで中部国際空港に、又、大勢の東京組が朝一番の新幹線で名古屋へ向かい、石垣秀生君（A組）と稲川秀郎君（F組）を加えた名古屋組が二手に分かれて出迎えて合流し、そのままゴルフ場へ直行するのである。

懇親会場は、ここ二十年程は知多半島の先端の高台にある師崎荘で行っている。ここは、伊勢湾と三河湾が目の前に二七〇度展開する絶景の場所に加え、地元産の美味しい魚介類が、腹一杯堪能できる所で、その後のカラオケを含めて夜中まで楽しめる会場である。勿論、ゴルフはやらないが、懇親会には参加する楽しいメンバーもいる。

当時は、四組でプレーしたが、後期高齢者ともなると次第に人数が減少し、今年には二組のプレーとなったのが寂しい。しかし、今回は同窓会会長の大井龍司君（E組）

が仙台から初参加され、大いに盛り上がった。参加者も喜んでおり、今後も続けて行きたいと考えている。

以上



知多半島の先端、師崎荘での懇親会（平成26年10月20日）

東京一八会

伊藤 悦敬（高18回）

私たちが高18回生は母校を昭和四十一年に卒業以来、大学などを経て社会人になってから来年の春には満五十周年を迎えることになりました。この間、仙台では地元メンバーが中心となり「一八会」として運営してきましたが、首都圏在住のメンバーは東京一八会として、まとまった運営や行事もななくしばらく一部の小さな仲間同志の集まりで過ごしていました。

それでも、定年や還暦を迎える

前後のころからだんだんまとまってきました。定期的な集まりもできるようになり、二年に一回は東京一八会総会（三十人前後が参加）を実施しています。また偶数月（二カ月に一度の第三金曜日が原則）の飲み会を東京・秋葉原の焼き鳥屋「九」にて開催してきて三十三回になります。この飲み会は毎回入れ替り立ち替りで集まる顔ぶれが替わりますが、それでも十人以上は集まり、その時々話題や二高時代の思い出話に花を咲かせて、お互いに元気を競っています。

昨年春ごろから、東京一八会では加藤俊一君を中心とした有志が卒業五十周年の記念事業を仙台の同期メンバーに提案し、クラス幹事会の席で一緒に考えているところです。ようやく発起人体制と事



業の内容も形になり出し、近々同期のみなさんに案内できるところまで来ました。話を聞いた同期のメンバーは仙台二高にかける篤い思いに燃え始めることでしょう。来年はオリンピックの年で全体の同期会総会が開催される年になります。大いに楽しみな卒業五十周年になりそうです。

ゲタの会

鈴木 誠一（高22回）

二〇一五年一月二日（金）午後五時から、江陽グランドホテルで、四十名が集って、「二〇一五年ゲタの会新年会」が開催されました。これからは一年、一年大事な時を刻んでいきますので、お互い元気なうちに、毎年、お正月と、八月のビアパーティーは、集まろうということになりました。最近、同期の皆様と会う度に、会社や仕事が変わった人、そして、第二の職場も終えられた方も、多いようです。

そのためか仙台に戻る予定の方も多いようです。同期の皆様と、そんな話も交えながら、還暦を過ぎて旧交を温めました。田島信義先生、今野敏先生にゲストで出席いただき、二次会まで大変盛り上がりしました。今回は、オプションの麻雀は中止としました。ゲタの会は、我々が、満三十六歳の

時、仙台二高同窓会総会の当番期の時に、結成されました。あれから二十八年一日も欠かさず、毎月二十二日に、二十名近く集まって、ゲタ飲み会を開催しております。来たる八月十四日（金）には、シャンソン歌手、浜野ケイ子さん、ピアニスト、内山誠さんをお招きして、「田島信義先生米寿お祝いゲタの会ビアパーティー」を開催します。

ゲタメンバー、全員集合。



寄稿

それは部員七名から始まった!!

関口 昌男（高10回）

昭和三十年十月、宮城県高校野球の新人戦が始まる時、我が仙台二高野球部の部員は、三年生が抜けた後という事もあって、二年生四人、一年生三人程度しかいなかった。野球は九人でやるスポーツという事は昔も今も変わりはない。

新人戦に出るためには最低でも九人の部員が必要だった。新人戦が始まるまでの間に以前野球部にいた者達をかき集め、漸く野球が出来る人数を確保する事が出来た時は正直ホットした。が勝てるはずも無く、結果は当然一回戦負け。かき集めた部員も新人戦が終ると同時に決まったようにやめていった。



対西条高戦の三塁前憤死を
横山泰三画伯の3こま漫画の一部
関口憤死の漫画

ここから残った部員七名の頑張りが始まった。春になり新一年生が入部してきた。

何とか野球部としての体裁は整った。数だけの。練習試合は可能になった。当時の監督二瓶さんはどんなお気持ちで我々をご指導されたのか、そのときの監督の気持ちをお聞きは知らない。新年度になって、練習試合は始めたが全く勝つことは出来なかった。ピッチャーで四番で主将の早坂さんは捕手だった二年生の私をどんな風に思ってピッチング練習をしていたのだろうか？とにかく練習試合は全て敗戦であった。

そんな時、伝統の一・二高定期戦の日がやってきた。昭和三十一年五月だった。当時は一勝一敗になると決勝戦は月曜の午後に行なわれた。月曜の午前の英語の授業中、突然先生が教壇から降りてこられ、小生の前に止った。吃驚した。その日は英文和訳の授業で次々に指名されていた。いよいよ俺の番か？ その先生は、『関口！今日は絶対に勝てよ！』と言われて教壇に戻られた。和訳の問題は小生を飛び越えてその次の者に当てられた。そんな今では考えられないような出来事もあった。その3回戦2対1で勝利した。それから二高野球部は練習試合に勝てるようになった。

第三十八回全国高等学校野球選手権宮城県予選が始まった。当時

は、宮城・福島・山形の三県から一チームに甲子園出場権が与えられていた。投手で四番で主将の早坂さんは二年のキャッチャーの小生のミット目掛けて一心不乱に投げ込み、あれよあれよと言う間に五試合完投の五連勝で宮城県大会で優勝してしまっ。東北大会は毎年主催県持ち回りで、この年は宮城県開催だった。一回戦福島高校戦、延長10回6対3で勝利、二回戦仙台一高戦、9回裏に4対4の同点に追いつき、延長11回5対4のさよなら勝利で決勝戦となった。相手は福島代表磐城高校戦、結局これに三対一にて勝利し、仙台二高三度目の甲子園出場を決めた。

昭和三十一年八月十二日入場式には颯爽と仙台二高野球部も行進していた。

前年の秋には七名しかいなかった野球部が！と夢のようだった。しかも甲子園でも一回戦が不戦勝だったとは言え、慶應高校を破ってベスト8に進出、四国の西条高校に誰かの暴走？（本人・関口は暴走とは思っていない。今でも）で2対0で敗れたが、ベスト8と言う事で第十一回兵庫県国体に出場、準決勝戦で中京商業（現在の中京大中京）に3対1で敗れたが、この試合は戦後初の天覧試合となり、その栄に浴す事になった。

四回目の甲子園出場、小生の目の黒いうちに何とかならないか！現役諸君ガンバレ!!



昭和31年8月18日
準々決勝
対北四国代表西条高校戦



昭和31年夏、
仙台二高硬式野球部、
甲子園に向かう仙台駅頭での
壮行応援(麻喜宏雄氏提供)



昭和31年、第38回全国高校野球選手権大会、
仙台二高の堂々たる入場行進(筆者提供)

仙台二中 乗馬部のこと 北陵ドクター倶楽部顧問 安田 恒人(中45回)

むかしの話である。
現在はよく「部活」という用語が使われるが昔はそんな言葉はなかった。この話は約七十三年前のわが仙台二中の部活のはなしである。
現在の仙台二高の場所は昔からの周辺は大日本帝国陸軍の第二師団であった。師団司令部は現在の青葉山の東北大学の講堂―萩ホールあたりであり、大橋を渡り坂を登って大手門をくぐると司令部であった。大町の方向から大橋を渡ると左手は追廻し練兵場で青葉城の眼下で奥に射撃場があった。右側、つまり現在の仙台国際センターの場所とその北側の二高までの間が工兵隊であった。今の二高の道路を挟んで西側、つまり現在の県立美術館、さらにもっと西側を含めた場所に野砲隊があり、さらにその西側に輜重隊へしちようたいVがあった。そして亀岡八幡の坂を登った丘の上、つまり現在の東北大学の各種の研究部や教育大学のある部分は荒れ野の演習地だった。

東南隅に騎兵隊があった。前置きが長くなったが、ここからが部活のはなしである。当時は戦争の真っ最中だったが野球部は残っていたし対一中戦もほそぼそながらあった。剣道部、柔道部などが華やかで射撃部などもあった。昭和十六年か十七年だったかはっきり憶えていないのだが、乗馬部が生まれた。またなぜ乗馬部がそのころに生まれたのかも定かではない。しかしやや推定はできる。それは教科としてあった軍事教練の指導者だった古参の大尉さんあたりの口利きだったのだろうし、軍隊のほうとしても軍馬の運動不足の解消、さらにこれから軍人になる青少年の育成などを目標したのであろう。三年生だった私はその乗馬部のキャプテンにされた。同期の部員に後の黒川内科↓県立がんセンター↓県衛生部長↓県会議員になった故高野昭君などが居る。

とにかく野砲は一門の砲を馬六頭か四頭で曳く。騎兵隊は殆どが騎乗している。輜重隊は荷物の運搬が主たる仕事で積んだ車を馬で曳く。それだけではない、他の隊も含めて将校さん達の乗馬も沢山中の周辺に飼われていたのである。それを放課後を待ちわびて借りて乗る訳である。
昭和十六・七年にはもう全国の物資不足が激しくなり、なかなか革靴も入手出来なくなり生徒の半分ぐらいいは登下校時に裸足に下駄穿きであった。もっとも旧制高等学校の二高生は伊達に足駄穿きであったが。そして校内は冬でも裸足だった。
放課後大急ぎで乗馬ズボンを穿きさらに乗馬用の長靴を履きそれに拍車を着けて厩舎目指して出かけるのである。もちろんその時代だからユニフォームなどは無い、それぞれ苦心して入手したが、私の家には幸いなことに日露戦争に軍医として出征した祖父の使った白い乗馬ズボンと乗馬用長靴と拍車があったのでそれを着用していた。
馬に乗ったことの無い方のために申し添えると、乗馬の最初の訓練はきびしい。左手で馬の鬣を握り右手で鞍の後部を握り左足を上げて鐙につま先を掛けて飛び乗るのだが、最初は旨くなんか乗れない。兵隊さんにお尻を押し上げて貰って乗る。初めて乗れば高いのと不安定なのに驚く。馬場には十頭ぐらいの各馬の轡から長い綱がついていてその綱を纏めて馬場の中央に立っている教官が左手に持ち右手に長い鞭を持っている。「背筋を立てよ。鐙を外せ」の命令で背中をシャキッと伸ばし足を鐙から抜く。「並足、前へ」の命令で馬は勝手に歩き出す。並足に慣れると「速足」になる、そうなる必死で腿を締めしがみつく。勿論落

ちる奴もいる。何度でも乗せられ鍛えられる。そして自由に「駆け足」も出来るようになる。TVドラマなどでは乗馬姿が日常的だが、誰でもすぐ山野を走り回れる訳ではなく似たような経過を経て上腿の筋肉を使えるようになる格好よく乗れるようになるのである。

馬の話も少し。馬の種類は数え切れないほど在る。しかし乗る馬はある程度大きくて利口で気性が細かくて丈夫でなければならぬ。勿論乗れるのだが常に車を引く馬は頭を下げて肩に力が必要だから乗っても頭の位置が低い、さらに足も太く蹄も大きく体重も多すぎて太っている。だから乗ると多少とだたすのである。野砲隊や輜重隊の馬はこれらが多く、アングロノルマンやアングロアラブが多かった。これに引き代え将校乗馬や騎兵隊の馬は頭が立っていて足がスラリとして動作が軽快で気性が細かい。アラブやサラブレッドが多かった。犬猫も可愛いが馬ほど可愛い動物はないと思う、但し乗り手を判断しこいつは駄目な奴だなどと思うと云うことを聞かないし振り落したり蹴ったりする。これはいい乗り手だと判断したら何でも手技に従うし調教し易い。そこで将校乗馬の厩舎に行き良い馬を探して乗るのである。中に赤札が貼ってあり咬癖、蹴癖。放馬癖と書いてある馬が居

る。咬みつく、蹴飛ばす、逃げ出す、そして気性がはげしい。ところがこいつの前に行きじっと見つめ合う。そして乗るとこいつが素晴らしい馬なのである。そんな馬を探して乗る楽しみもあった。そのころよく東北大学医学部の乗馬部のみなさんと一緒に馬術訓練をする機会も多かった。医者になつてからもお付き合いを頂いたが、その中に故安藤静男先生や故神津康雄先生など（両先生とも昭和十九年医学部卒業）が居たしわれわれを可愛がって貰いとても面倒をみて頂いた。ご一緒に松島までの遠乗りなどもした。こんな楽しい部活だったのである。こんな僅か三年くらいで終焉した部活はこの乗馬部ともう一つあり、短艇部だった。

そちらの話はここでは省略、学校の歴史にも残っていないだろうが。駄足だが、昭和二十年の終戦で陸軍は解体となり秋ごろに軍馬の無料放出があった。ほとんど農村に引き取られたが、わたしは可愛い可愛い馬を欲しくて堪らなかつた。しかし人間さまの食料さえ無くてひもじい時に仙台市内で馬の飼料など入手は出来る筈もない。涙を吞んで断念した。だから後に、動かない時は餌を喰わないオートバイへ鉄馬V乗りになつて今日に至つたのである。

鉄馬翁 記

特別講演
「震災三年を経て、福島（南相馬市）の今を聞いて」

深松 葉（高64回）

二〇一一年三月十一日十四時四十六分。受験生としてのスタートを控え、私たちは二高で模試を受けていました。経験したことのない長くて大きな揺れ。一体何が起きているのか判断できない時間であったことを記憶しています。揺れが続けば続くほど、ただ事ではないというのを被害にあった誰もが感じていたと思います。

しかし、あれから三年。仙台で暮らし続けている私でさえ、周りの生活からは震災の面影がなくなっています。そのような中この度、福島で活動を続ける御三方の貴重なお話を聞くことができたのです。率直な感想として言えるのは、私が経験した「東日本大震災」とはほんの一部であったのだ、ということ。停電や物不足、学業や部活への制約を受けたと言っても、津波や原発事故による被害などとはいっさい無関係でした。

原発事故の深刻さを耳で聞くことはあっても、肌で感じたことはありません。今もなお、不自由な暮らしを強いられている人々が多くいる中、震災の存在を忘れかけていた自分を恥ずかしく思います。人間は「忘れる」という優れた能力を持つ生き物だと、悲しみや苦しみを経験してもいざれ乗り越えられる生き物だと言われていきます。しかし、決して忘れてはいけない悲しみや苦しみを存在するのです。私は九月からドイツに約一年留学します。世界で考えても数えきれないほどの多くの人が東日本大震災の存在を知っている中で東北出身だと言えば、地震に関して聞かれることもあるだろうと思います。私には、東北代表として経験談や現状を伝えてくる義務があるのかもしれませんが、東北の人たちが、福島の人たちが経験した悲しみや苦しみを、次なる災害への教訓として伝えておかなければならないのかもしれない。その点においても、今回お話を聞けたことは私にとってとても意義のあることでした。

そして、事態は想像を絶して悲惨でした。「賠償金をもらえて良い身分だね。」この言葉を聞いた時、原発事故というものが人間を醜くさえしてしまっている現状に憤りさえ感じました。平成の大合併により誕生した南相馬市として動き始めた矢先に、原発事故の特別警戒区域、賠償保障区域の境界によりまたも分断されてしまふ。同心円上で考えると南相馬市は二十キロ、三十キロ地点で分断されてしまい、援助の差もあるそうです。同じ地域で暮らしていたはずなのに、ほんのちょっとした距離で区別されてしまふ。自殺などの原発事故関連死にも歯止めがからず、二〇一四年六月現在で死者は一七〇八人にのぼっているというニュースにも心が痛みました。避難区域を同心円範囲で決めてしまふことに学生ながらいささか疑問を持っていましたが、この決め方による実際の被害を聞いたことは今回が初めてでした。

最後になりますが、今回このように壮絶かつ心に残る貴重なお話をしてくださった伊藤博英さん、鈴木昌一さん、今野明さんに感謝申し上げます。私にできることは何なのか、小さなことだとしても何か実践できることはないのか、これからも考え続けていきたいと思ひます。

仙台二中二高北陵会二十年の軌跡

高橋 正道（高3回）

同窓の自主的な研鑽の場として仙台二中・二高北陵会は昭和五十六年九月（一九八一年）に発足、平成十三年九月まで二十年間一四一回の例会を開催してきました。

設立のきっかけ

戦後の学制改革により旧制二中から新制二高と通算六年間在学した四期（高1〜4）は卒業後、社会人として情報交換の必要性を痛感、四期の顔馴染みで異業種交流

会を開催してました。そんな折に首都圏の青山史朗さん(中40)主宰の同窓の勉強会東京北斗会の活動を知り強い刺激を受け北陵会発足の要因となりました。

同窓の自主的勉強会

発足にあたっては経験豊富な菅野英之進さん(高1)伊澤平一さん(高4)のアドバイスを頂き、二階堂正さん(高2)と準備会をつくり同窓の自主的な勉強・交流の会として、同窓会本部の了解を得て昭和五十六年九月二十五日に設立総会を開催。総会には恩師の諸先生、先輩の氏家栄一さん(中33・七十七銀行頭取)のご出席を頂き「頑張って続けるように」と激励を受け、参加九〇名(登録会員三〇〇名)で会の発展を誓いました。(写真参照)四期会は発展的に散会。

運営について

歴代会長は高1回の松岡竹雄・熊谷徳雄・矢野直孝・千坂祐さんの諸先輩のご指導のもと、各卒業同期代表の世話人を中心に協議を重ねながら運営してきました。例会は同窓の講師の講義を中心とした勉強会で、講師には一番得意な話を約一時間講義して頂くよう依頼。多忙なお仕事の中、設立趣旨をご理解の上、快諾して頂いた多士済々な講師陣からは政治・経済経営・科学・趣味・芸術等自前の講師陣から専門外の幅広い分野の講義を学ぶ幸運を得ました。北

陵の風土を共有する講師の生き様を感じ、伝統の重みを強く感じながらの運営でした。堀田前同窓会長からは「文武一道」路線上の知的交流の場」と過分な評価を頂き身の引き締まる思いでした。二十年の間には大雪、大雨など悪天候の日にも続々と参加者が集合、安堵した感動は忘れられません。

五周年記念誌の発行

五月周年を迎えた昭和六十一年九月には葉書一枚原稿の募集を行いました、講師と会員併せて九〇名からユニークな短文随想を寄せて貰いました。表紙は「へんな人」の題で原稿を頂いた上田朗さん(高1版画家)の版画で飾り貴重な記念誌となりました。

講師の思い出

各講師に忘れ得ない思い出があります。紙面の都合で首都圏から出張の講師の中から数名の方

を紹介します。(役職は講演時) 〇第四回・吉田直哉さん(高1・NHKのチーフディレクター)「ブラウン管の裏のとおきの話」でした。巧みな話術で抱腹絶倒のお話で会場を沸かせました。吉田さんはテレビ創成期から活躍されたテレビの低俗化を恐れ、知的でレベルの高い数々のドキュメント作品を発表、創造的な活動を続けられた逸材です。著書多数「脳内イメージと映像」「まなこつむれば」は吉田さんの教養の豊かさを感じる名著です。

〇第九回・橋本保雄さん(高3・ホテルオークラ常務)「世界に通じるもてなしの心」と題し、国際レベルのホテルの確立に貢献した経験から得たサービスの神髄を語ってくれました。仙台と母校をこよなく愛した同期の敬愛する親友です。著書は「感動を創る」「人脈の極意」他サービス学関連多数 〇第十二回・高橋由貴彦さん(高1・東京クリエイティブ社長) 「旅と歴史と人生と・支倉常長の足跡探訪」の演題でした。当日は講師指定のオーディオ機器を配置して伊達のサムライ支倉常長がヴァチカンに向けて行進する臨場感溢れる演出で歴史的雄図を彷彿とさせる感動的な講演でした。石巻出身の著者「ローマへの遠い旅・慶長使節・支倉常長の足跡」に詳述されています。

〇第五十回・青山史朗さん(中

40・東京アドコンサルタント代表取締役)には在京の講師の紹介など多大なご支援を頂きました。例会では「日本の代表的私立美術館名品」と題し、ライフワークとされてきた国宝級美術品の紹介と仕事の厳しさを学びました。

第一三四回には、仙台二高創立百周年記念誌「百年の逸材」について、編集青山さん・著者中島信吾さん(高8)帯同で来仙、北陵の歴史に燦然と輝き、誇るべき偉大な先輩達のお話を伺いました。 〇第五十一回・穂積和夫さん(高1・イラストレーター)「歴史的建造物を描く」建築設計からイラストレーターとして活躍。名言「俺がブランド」と称された才能豊かで洒落な先輩から「男のお洒落」のお話も聞きたかったですね。

北陵の強い絆に感謝

同窓の強い信頼に結ばれた北陵会二十年の軌跡です。最後に各回講師・出席の会員諸兄・ご指導ご助言を頂いた諸先輩・運営にご協力頂いた世話人会の諸兄、設立以来、献身的なお手伝いで武骨な男子の会に紅一点、華を添えて頂いた丹野恵子さん(中42回故丹野一郎氏長女)等のお力添えに心から感謝いたします。お名前でご紹介した方の中には故人になられた方もおります。ご冥福を心からお祈りします。

新「仙台二高北陵会」の紹介

第一期が終了して一年後世代交



設立総会の記念写真 昭和56年9月25日

代し、新仙台二高北陵会が平成十四年九月に発足、新感覚で年約八回の例会を続けて十三年、益々の発展を祈念します。連絡は世話人会代表・加藤幹夫さん(高26回) 連絡 090-3120-6865 ※講師一覽、希望者にはお送り致します。連絡は高橋まで。 高橋 正道 携帯 090-7934-2800 mail mtak@z77.so-net.ne.jp

創立記念講演会

「仙台二高の思い出」

現産業技術総合研究所理事長・元ソニー株式会社社長

中鉢 良治氏 (高18回)



五月一日の創立記念行事に、現産業技術総合研究所理事長、元ソニー株式会社社長である、高校18回の中鉢良治様を講師として「仙台二高の思い出」という演題で講演をしていただきました。この講演会は二年前にある生徒から「ぜひ中鉢さんのお話を伺いたい」という強い希望があり企画されたもので、二年以上越してその願いがかなったものです。もちろん、卒業したその生徒も講演会に駆けつけていました。

さて、中鉢さんは川渡中学校(旧鳴子町、現大崎市)から、たった一人で本校へ入学しました。友人もなく親元を離れて下宿生活をしながら、悩みながらも楽しく二高性としてのアイデンティティーを確立した過程を、ユーモアたっぷりにお話しいた

だき、高校や大学での生活、さらにはSONYでの研究生活を山にたとえてお話しいただきました。

まず高校時代は、八畳一間の下宿生活でホームシックになり、夜に涙をこぼしながらも、「二高生とは何か」というアイデンティティーが、厳しい応援練習や「よしっ」の返事から芽生え確立していったこと。職業意識がなく大学進学のもなの中で、所属していた弁論部が社交場で情報源となり、理系・文系のイメージを得て理系の進学を決めたこと。二浪をして東北大学へ進んだこと。大学入学後は、文系の科目をたくさん取ったこと。同級生の先輩にも助けてもらい、修士・博士の過程へと進み、研究者になることも考えたが、結局は就職したこと。などの思い出を披露していただきました。

当時の高校生は井上ひさしの「青葉繁れる」みたいに(一高が舞台の小説ですが)お利口さんで、ちょい悪をしてみても、またお利口さんに戻る。自己矛盾的自己同一性を持つ人物が多い

た、そんな世界だったそうです。

今の産総研の八〇〇名の入所者は、はじめはノーベル賞を取るといふ夢を持っていても、上には上がいることに気付かされ、一人前の研究者になれば良いとハードルを下げますが、やがて研究が認められると研究者が集まり、マスコミからも注目を受け、世界からも認められるようになり、二高生は中学校では上であっても、高校では上がいます。その中で苦労しながら、先輩の背中を見て少しずつ成長する。二高生と産総研の研究者は似ていることでした。

文系・理系の話も楽しく聞かせていただきました。大学に入ると理系は勉強が大変で、文系は余裕がある。文系には協調性があり、理系には競争力がある。文系は目的や業績が明確でないが、理系は業績がはっきりしている。しかし複雑な前途がある。生涯給料はかつては文系が高かったが、今は理系が高い、等々。中鉢さんはエンジニアとして理系100%でSONYに入社しましたが、四十歳で課長になると理系が50%、五十歳では20%、六十歳越したらほとんど文系だそうです。企業では理系の技術的要素だけでなく、協調できる文系的人材が欲しいということ。中鉢さんは、高校時代にあま

り目的意識がなかったり、理系文系もはっきりしていなかったことを述べられました。それゆえ理系ではあっても文系的な素養が高く、その後の活躍に現れたのだと感じました。

中鉢さんが仙台二高を選んだのは、ここが高い山だからで、背中を押してくれる先生がいたからでした。独り者で心細くても、仲間がいて山登りを始めました。途中でチャラチャラして足元をすくわれて転んでも大丈夫、救ってくれてる人がいました。登ると周りが見え、次の山のことを考えます。下りは次の山の備えです。次への準備がなければ山は登れません。次の大学の理系山では二高では会えなかった人々もいて、そこに登るとまた見えないものが見えてきました。はるか向こうにまた山が見えました。そのまま登って修士山から博士山を目指すことになりました。そのまま山にいたかったけれど、当時すでに結婚して子供がいたため、家族にダメと言われ、降りて別の山に登ることにしました。それがソニー山でした。ソニー連邦には沢山の山があり、一人では登れませんでした。無理だと思いつつ降りて準備すると、また道が開けました。その繰り返しでした。そうして、うまく頂上にアタック出来たのはごく限られた人、大きな責任も生じ

ました。

SONYに入社してから社長になるまでの苦労話や、こうすれば良い、などという明確なアドバイスはありませんでした。日本いや世界をリードするSONYの最高責任者という雲の上のような方の基礎が、この仙台二高にあることは確かです。最後に中鉢さんは私たちに大きな夢と希望を与える言葉で締めくくられました。

「社長になると一人では何も出来ません。たくさんの人々に支えられています。一つ一つ征服してゆくうち、小さい時には見えなかった高い山に登って見えました。しかし下を見ると、あの青春時代に見た山―あなとうとあなうるわし―あの山がありました。山登りは苦しいから楽しいのか、苦しいけど楽しいのか、私にはわかりません。私の山登りはまだ続きます。私も頑張ります。君たちも頑張ってください。」青春時代に見た山とはもちろん、二高生の時に見ていた山だったのでね。

当日の夜は「囲む会」が開催され、講演会を聞くことが出来なかった同窓生も多数出席されました。あれほどの人物になっても、同級生や同窓生の中に入ると、普通の二高生になって、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。改めて感謝申し上げます。

支部 OB 会連絡先

● 支 部

団体名称	代表者	事務局(連絡員)	事務局連絡先
N・Y支部	且 英夫 (高20)	且 英夫 (高20)	8 Heritage Lane, Rye, New York 10580 USA, 914-921-0771
北海道支部	若生幸一郎 (中43)	上田 俊朗 (高15)	登別市常磐町1丁目14-3 0143-85-2729
青森支部	生駒日出夫 (中37)	新山 龍治 (高22)	青森市緑2-15-8 017-774-1009
岩手支部	鈴木 恒男 (高5)	橋浦礼二郎 (高23)	盛岡市西松園1-9-2 019-662-7028
山形北陵会	仙道富士郎 (高9)	粟野 学 (高26)	山形市旅籠町3丁目2-3 023-631-0001
福島北陵会	阿部 力哉 (高3)	益田 芳幸 (高3)	福島市丸子字沢目17-2 024-554-5920
在京同窓会	上条 努 (高24)	赤井澤勝己 (高23)	千葉県若葉区みつわ台 1-27-1-B-304
東海北陵会	千葉 善根 (高9)	佐山 泰弘 (高10)	愛知県知多郡武豊町平井6-39 0569-72-4032
関西同窓会	麻喜 宏雄 (高9)	川幡 公章 (高26)	兵庫県姫路市飾磨区英賀保駅前町 72プリート202 090-7716-3643
広島支部	奥田 幸造 (高12)	佐藤 均 (高17)	広島市西区庚牛中4-5-8-301 082-275-1269
気仙沼支部	移川 二郎 (中36)	移川 二郎 (中36)	気仙沼市松崎柳沢216-5 0226-22-6685
志津川支部	高橋 長偉 (高11)	高橋 長偉 (高11)	本吉郡南三陸町志津川十日町1 0226-46-2041
石巻・桃生・牡鹿支部	菅原 憲 (高8)	後藤 宗徳 (高29)	石巻市千石町2-10 石巻グランドホテル気付
加美郡支部	有馬 恒彦 (高18)	大山 匡 (高23)	加美郡加美町字北町2-181-1 0229-63-3054
塩釜北陵会	大平 眞悦 (高18)	中村 賢一 (高17)	塩釜市尾島町1-15 022-362-3226
黒川北陵会	大友 正隆 (高16)	大友 正隆 (高16)	黒川郡大郷町羽生字原畑27-2 022-359-3222
岩沼支部	四倉 政美 (高10)	四倉 政美 (高10)	岩沼市桜2丁目1-15 090-3755-6555
亘理会	山田 芳廣 (高9)	山田 芳廣 (高9)	亘理郡亘理町字五日町19 0223-34-5347
角田支部	未定	湯村 周一 (高22)	角田市角田字町65 0224-63-1331

● 職 域

団体名称	代表者	事務局	事務局連絡先
仙台市役所北陵会	伊藤 行政 (高26)	砂子田 順 (高58)	〒980-8671 青葉区国分町3-7-1 仙台市総務企画局 人材育成部労務課 022-261-1111 (内)2222
宮城県庁仙台二高養賢会	吉田 祐幸 (高29)	野呂 秀樹 (高42)	〒980-8570 青葉区本町3-8-1 宮城県国際経済交流課 国際交流第二班 022-211-2277
仙教委北陵会	郡山 孝幸 (高25)	東海林恵吾 (高28)	〒982-0014 太白区大野田六反田10-5 大野田小学校 022-247-6654
藤崎北陵会	松原 大介 (高27)	星 史雄 (高37)	〒980-8652 青葉区一番町3-2-17(株) 藤崎 人事部労務担当 022-261-5111
宮齒二高会	太郎丸 浩 (高17)	角田 哲 (高26)	つのだ歯科医院 022-281-4182
北陵ドクター倶楽部	山崎 匡 (高12)	鶴飼 克明 (高28)	仙台医療センター消化器内科 hokuryo.dr@gmail.com

●クラブ

団体名称		代表者	事務局	事務局連絡先	
青葉倶楽部	硬式野球部	鈴木 文夫 (高 6)	岡崎 正行 (高28)	〒982-0242 仙台市太白区秋保町長袋戸崎64	022-399-2215
仙台二高 軟式野球部OB会	軟式野球部	岩田健太郎 (高49)	岩田健太郎 (高49)	〒981-0942 仙台市青葉区貝ヶ森3-29-25	022-278-1422
仙台二高 ハンドボール部 北陵会	ハンドボール部	菅間 進 (高21)	中鉢 貴省 (高48)	〒980-0014 仙台市青葉区本町 1 -12-12 GMビルディング 9 F	022-796-9411
仙台二高 バスケットボール部 北陵会	バスケットボール部	萩原 邦明 (高 4)	佐藤 宣男 (高16)	〒981-0961 仙台市青葉区桜ヶ丘1-3-15	022-278-7458
仙台二高 バスケットボール部 東京北陵会	バスケットボール部	太田 一彦 (高23)	遠藤 英司 (高38)	〒165-0035 東京都中野区白鷺3-22-7-117	080-1133-3072
	サッカー部	菊田 久 (高25)	菊田 久 (高25)	〒963-0006 仙台市宮城野区白鳥2-26-24	022-258-2287
仙台二高ラグビー部 OB会	ラグビー部	本吉 和康 (高11)	桂島 猛 (高34)	〒981-3332 富谷町明石台5-41-1	022-776-1364
北陵騎士の会	フェンシング部	小栗 康次 (高13)	秋保 茂樹 (高32)	〒021-0866 岩手県一関市南新町55	0191-32-5105
	ヨット部	未定	奥野 誠也 (高22)	〒981-1304 志田郡松山町千石本丸49桃源院	090-6149-0002
仙台二高スキー部 北陵会	スキー部	前田 弘毅 (高28)	斎藤 雅人 (高34)	〒981-0953 仙台市青葉区西勝山7-2	022-719-3282
仙台二高陸友会	陸上競技部	宮崎 幹男 (高12)	加瀬 延男 (高16)		022-287-3901
仙台二高北陵柔道会	柔道部	佐々木優登 (高16)	鈴木 裕 (高27)	〒984-0836 青葉区新坂町3-19	022-271-3682
仙台二高剣道部 OB会	剣道部	菅野 敦 (高41)	堀之内優樹 (高44)	〒989-0225 白石市東町2-5-28-102	0224-25-9924
仙台二高弓道部 OB会	弓道部	中村 光雄 (中42)	山口 哲男 (高20)	〒980-0804 仙台市青葉区大町2-15-40	022-223-1618
仙台二高OB山の会	山岳部	三浦 康宏 (高31)	三浦 康宏 (高31)	〒981-3362 富谷町日吉台1-3-2	022-358-9452
仙台二高 バドミントン部OB会	バドミントン部	未定	穴戸 義一 (高22)	〒981-0952 仙台市青葉区中山7-14-8	022-278-4448
	卓球部	金子 榮 (高 2)	鈴木 登 (高17)	〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東3-14-19	022-252-4216
バレーボール部 北陵会	バレーボール部	佐野 崇 (高 4)	阿部広太郎 (高40)	〒982-0011 仙台市太白区長町3-4-16-1001	022-308-3551
宮城県 仙台第二高等学校 合気道部同窓会	合気道部	岡崎 信 (高20)	吉田 信彌 (高22) 進藤 遼 (高60)	〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通 1 番地 宮城県仙台第二高等学校 合気道部顧問担当教諭気付	022-221-5626 (仙台二高) 0224-25-0024
仙台二高 空手部OB会	空手部		渡辺 秀樹 (高56)		
仙台二高応援団 幹部OB会	応援団	田中於菟彦 (高15)	田中於菟彦 (高15)	〒986-0912 仙台市青葉区天守台 青葉城本丸会館	022-222-0218
二吹会	吹奏楽部 (ブラスバンド部)	龍田 正隆 (高11)	但木 均 (高22)	〒981-0912 仙台市青葉区堤町1-1-1-1201	022-717-3507
	演劇部	西條 昭将 (高15)	西條 昭将 (高15)	〒191-0053 東京都日野市豊田2-3-12	042-583-4997
	写真部	伊勢 隆一 (高19)	伊勢 隆一 (高19)	〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-6-32	022-222-1720

※他の運動部、文化部の情報をお寄せください。

【連絡先】 仙台二高同窓会活性化担当副会長 鈴木 誠一

仙台二高同窓会事務局 〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通1

TEL/022-221-5651 FAX022-221-5686

Eメール/qqnt4329@wonder.ocn.ne.jp

同窓会ML/nikodousokai@googlegroups.com(詳しくはp32)

平成27年度 年間行事予定

4月28日	火	大運動会（活動助成）	本校校庭	
5月1日	金	創立115周年記念講演会 産総研理事長 高18回 中鉢 良治 氏	本校講堂	13時15分
5月10日	土	定期戦祝勝会	KOBOSタ宮城	16時00分
5月24日	日	対一高同窓会ゴルフ対抗戦	仙台 CC 名取コース	
6月1日	月	同窓会報第48号発刊		
6月11日	木	当番回期第一回打ち合わせ会（高26、27、38、39、50、51回）	北陵館	19時30分
6月14日	日	第一回評議員会	江陽グランドホテル	16時00分
6月24日	水	当番回期第二回打ち合わせ会（高26、27、38、39、50、51回）	北陵館	19時30分
7月4日	土	校内ツアー・総会 講演会：クラブ活動後援会への寄付	江陽グランドホテル	17時00分
9月5日 9月6日	土 日	北陵祭（同窓会ブース開設）	仙台二高	
11月11日	水	当番回期・PTA役員第一回打ち合わせ会（高27、28、39、40、51、52回）	北陵館	18時30分
12月9日	水	当番回期・PTA役員第二回打ち合わせ会（高27、28、39、40、51、52回）	江陽グランドホテル	18時30分
1月13日	水	当番回期・PTA合同第三回打ち合わせ会（高27、28、39、40、51、52回）	北陵館	18時30分
1月22日	金	PTA同窓会合同懇親会	江陽グランドホテル	18時00分
2月29日	月	同窓会入会式	本校講堂	10時00分
理事会開催（4/23、5/13、6/11、7/1、8/12、9/16、10/14、11/18、12/16、1/20、2/17、3/16）			北陵館・画像検診クリニック会議室	

- ◆定期戦祝勝会やゴルフ対抗戦などのイベントは、時期が近づくとホームページやメール等でご案内をします。また、初冬に発行予定のニューズレター（仮称）でもご案内しますので、奮ってご参加下さい。
- ◆今年度の評議員会は同窓会報発刊後に開催されるため、例年掲載している「一般会計平成26年度収支決算報告ならびに平成27年度予算案」は本号には掲載せず、12月発行予定の北陵ニューズレターに掲載しますのでご了承ください。
- ◆上記行事予定も評議員会の承認を受けてません。あくまでも参考として掲載しますので、併せてご了承下さい。

評議員名簿

回期	氏名	回期	氏名	回期	氏名	回期	氏名
中40	桂 重俊	高13	志賀 従興	高28	鶴飼 克明	高48	武田 力也
中41	欠員		菅野 昭雄	高29	稲辺 和彦	高49	落合 和希
中42	和賀井敏夫	高14	磐井 裕		永見 幸久		高田 雄史
	南條 信郎	高15	近藤 尚武	高30	渡邊 善夫	高50	橘 大介
中43	欠員	高16	植田 俊之	高31	太田 康裕	高51	平山 雅史
中44	石井 敏夫		坂本 正憲	高32	和賀 久佳	高52	欠員
中45	欠員	高17	高橋 賢	高33	松谷 秀則	高53	栗原 慶太
中46	桃生 和夫		山田 信一	高34	結城 道広	高54	三嶋 廣人
中47	平塚 良治	高18	梅津 瑠三		平野 豊	高55	千葉 祐介
高1	欠員		渡辺 康之	高35	千葉 敏彦	高56	武藤 卓
高2	朝倉 亮	高19	庄子 友康	高36	菊地 徹	高57	京極 自源
高3	吉田 敏樹		遠藤 謙治	高37	今野 明典	高58	相場 峻
	高橋 正道	高20	半田 賢	高38	柳 雅裕	高59	蔡 優広
	安達 剛		中島 俊和	高39	首藤 雅浩	高60	柴又 賢史
高4	毛呂 達夫	高21	内藤 清秀	高40	天江新太郎	高61	日置壮一郎
高5	小金澤紀光		吉田憲三郎	高41	木村 光博	高62	添田 敏寛
高6	土岐 満夫	高22	菊田 健三	高42	長谷川清人	高63	佐久間俊平
	大友 一郎		熊谷 晴樹	高43	日下 開	高64	深松 栗
高7	中谷 義信	高23	大友 史祥	高44	大久 耕		徳永 航平
	藤野 尚之		小野寺満明	高45	菅沼 恵一	高65	佐渡 恵奈
高8	小山 明恒	高24	沼倉 和彦		利 大作		佐藤 泰史
	後藤 潮		二本柳 基	高46	中久喜英夫	高66	鈴木 小夜
高9	渡辺 和彦	高25	斎 基之	高47	渡邊 勝宏		坂元 宏司
	相澤美智雄		原 敏紀	高48	田所 直希	高67	鈴木 麻優
高10	四倉 政美	高26	木村 清	高49	花本耕之助		齋藤 樹
	三井 肇	高27	角田 哲	高50	小野 光利		
高11	高石 祥二	高28	鈴木 裕	高51	八谷 豊		
高12	米竹 隆		岡崎 正行	高52	大張 慎悟		

- ◆評議員が2名制になっています
平成25年度の総会後から、各回期の評議員が2名となりました。まだ選出されていない回期の方は、お早めに選出いただき、事務局までご一報下さい。

理事会等 記録

- 平成二十六年六月二十五日(水)
 - ・故菊地喬様からのご寄附の取り扱
 - ・総会の議事整理
 - ・岩手支部総会報告
- 平成二十六年七月三十日(水)
 - ・総会、懇親会の総括
 - ・会則の横書き化
 - ・総会でのクッキー販売
 - ・海外在住同窓生への会報送付
 - ・後援依頼の取扱い
 - ・ニュースレター
- 北陵祭の同窓会ブース
- ・故菊地喬様からのご寄附の取り扱
- ・北陵ドクター倶楽部設立総会報告
- ・仙台市役所北陵会、岩沼支部総会報告
- ・山形支部設立総会報告
- 平成二十六年八月十九日(火)
 - ・北陵祭の同窓会ブース
 - ・会則の横書き化
 - ・囲碁部全国優勝の特別表彰(五万円)
 - ・クラブ活動後援会への寄付(百万円)
- ・関西北陵会総会報告
- 平成二十六年九月十八日(木)
 - ・北陵祭同窓会ブース運営の総括
 - ・PT同懇
 - ・ニュースレター進捗状況

- 平成二十六年十月十五日(木)
 - ・PT同懇当番幹事との打合せ
 - ・ニュースレター進捗状況
 - ・在京同窓会総会報告
 - ・巨理支部総会報告
- 平成二十六年十一月十九日(水)
 - ・PT同懇当番幹事との打合せ
 - ・ニュースレター進捗状況
 - ・叙勲の紹介
 - ・東海支部、県庁養賢会総会報告
 - ・合気道部OB会設立総会報告
- 平成二十六年十二月十一日(水)
 - ・PT同懇
 - ・ニュースレター進捗状況
 - ・総会・PT同懇での叙勲者等の処遇に関する内規
 - ・広島支部の休止
 - ・中四十二回評議員
 - ・故菊地喬様からのご寄附の取り扱
 - ・仙教委北陵会、塩釜支部、福島支部総会報告
 - ・岩手在住一・二高合同懇親会報告
- 平成二十七年一月十五日(木)
 - ・PT同懇
 - ・専門委員会の立ち上げ
 - ・平成二十六年卒業式
 - ・テニスコートの照明設置
- 平成二十七年二月十二日(木)
 - ・PT同懇の総括
 - ・次期理事改選の手続き
 - ・専門委員会の立ち上げ
 - ・故菊地喬様からのご寄附の取り扱
 - ・同窓会入会式

- 平成二十七年三月十二日(木)
 - ・次期理事改選の手続き
 - ・理事会内委員会構成
 - ・東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト
 - ・卒業生の個人情報取り扱い
 - ・化学部への報奨金
- 平成二十七年四月二十三日(木)
 - ・次期理事改選の手続き
 - ・新年度の会務分担

イベント 報告

●平成二十六年年度PTA・同窓会合同新年恒例のPTA・同窓会合同新年懇親会(PT同懇)が平成二十七年一月二十三日(金)江陽グランドホテルにおいて一三名が参加して開催されました。

特筆すべきは、今まで父兄の参加者が少なく参加してもビジターの存在に過ぎなかったものを、今回は合同主催者として参加の呼びかけだけでなく企画の段階から打合せに入って貰ったという点でした。

その表れとして懇親会の司会は当番回期から高二十六回の阿部孝一氏とP(父母)から長谷川友子さんの二人制で担当し、プログラムにもPの出番が設定されました。とりわけ一、二年のPTAの協力により実施した一、二年の生徒の「二高生としての意識調査結果」

の発表には全参加者が釘付けになりました。

また、校歌斉唱では高6回の小畑章氏(フルート)、横山尚平氏(クラリネット)が伴奏するなど今までとは違う趣向に会場が沸きました。

今回の懇親会の当番回期は高26回を筆頭に38回、50回が当たり、中でも26回は角田哲氏、早川正秀氏、木村清氏を中心に企画、動員、進行と精力的に携わりました。特にアトラクションの抽選会では早川正秀氏が「寅さん」に扮して軽妙洒脱に当選番号を読み上げ大盛り上がりでした。当番回期のメンバーをはじめ父母の方々、校内幹事の先生方には大変ご苦勞様でした。

今回の当番回期は今年七月に行われる総会までが担当ということになります。次年度の回期のメンバー(高27・39・51回)とも協力し合って更に盛り上げていただくよう期待したいと思います。

**PTA・同窓会
合同新年懇親会
のご案内**

平成二十八年一月二十二日(金)に、恒例のPTA・同窓会合同新年懇親会を開催します。

会場は、例年どおり、江陽グランドホテルで調整中です。

詳細は、決まり次第ホームページ等でご案内する予定です。

今から日程を空けておいていただけると幸いです。

次項に、PTA・同窓会合同新年懇親会で話題となった、「二高生の意識調査結果」を掲載しております。



二高生の意識調査結果

今年のPTA同窓会合同懇親会で、PTA企画として「第1学年&第2学年 ハイスクールライフ 現状と意識度アンケート」の調査結果が発表されました。これは大井同窓会長から千葉PTA会長へのお声掛けにより実現したものです。この懇親会を盛り上げるため、同窓会側の企画は毎年行われていましたが、PTA側の企画は初めて大変素晴らしいものでした。

ここにその一部を紹介します。

対象は1・2年生649名で、回答者数は578名(89%)でした。内容は「総論編」「勉強編」「部活動編」「一般生活編」「家庭編」「恋愛編」「高校生としての自覚編」「未来への展望編」の項目に分けた、合計30問です。

●学校生活は楽しいですか

楽しい時もあれば、苦しい時もある286人、楽しい256人。この2項目で94%に達しています。

楽しくない18人、苦しい14人で、5%の生徒がハイスクールライフをエンjoyできていないようです。

苦しみながらも楽しい、それでこそ二高生。好ましい結果ではないでしょうか。

●行事の中で最も印象的なものは何ですか？

定期戦 37%、応援練習 17%、北稜祭 23%、登山 15%

定期戦と応援練習が断トツで合計54%です。登山もあわせて「洗礼」されるのですね。

●将来どんな人物になりたいですか

多い方から順に「自分の特性を生かした分野で活躍したい」「平凡でも穏やかな人生を生きていきたい」「安定志向の職業に就きたい」「研究者や専門職に就きたい」「世界を飛び回る国際人になる」「日本の将来を担う各分野のリーダーになり、日本を背負いたつ」「まだわからない」そして最後が「親のような人生を送りたい」でした。「世界を飛び回る国際人になる」では、英語が得意な女子が多い結果となりました。

●将来なりたい職業は決まっていますか

はい(35%)、いいえ(64%)、無回答(1%)

「はい」が少ないのが残念ですが、自分の無限の可能性を探っている、ということでしょう。

はい、の中で具体的に書いてきたのは

医療関係(医者、薬剤師等)、外交官、税理士、技術者、宇宙物理学者、研究者、経営者、パイロット、アナウンサー、建築家、作家、作曲家、デザイナー、公務員、教師、石油王、サッカー選手の代理人です。石油王というのは、創立記念日に講演をしていただいた鈴木勝王さん(高16、元JAPEX社長)の影響だと思います。

●今の日本の良いところは何だと思いますか

多い順に「食文化」「医療」「科学技術」「漫画・アニメ」「伝統文化」「国民性」「音楽」「言葉」「風土」「IT関連」です。

100人以下だったのは、スポーツ、映画、憲法、福祉、教育、工業生産。更に25人以下が経済、政治となりました。日本の政治を良いと思っている生徒はたった10人です。

同窓生諸兄の時代とはずいぶん変わったと思いますが、よく時代を反映していると思います。

●今の日本の替えたいところがありますか

ある(47%)、ない(57%)、無回答(7%)

「ある」の具体的内容は、政治、文化学問、教育、財政・税、医療福祉、意識 等でした。

●自分は将来、社会のリーダーとして活躍すると思いますか？

NO 28%、無回答 47%ですが、YES が 25%です。二高生の未来に期待しましょう。

このアンケートのために、PTAの佐藤哲也二学年委員長、千葉真己恵一学年委員長を中心に、一・二学年のPTA研修委員の皆さまに、問題の作成から集計、プレゼンテーション資料作成まで、長時間にわたり多量の作業をしていただきました。そのご労苦に対し、心より感謝申し上げますとともに、素晴らしい発表に拍手を送りたいと思います。ありがとうございました。

平成二十六年年度

第67回卒業式

三月一日(日)平成二十六年年度第六十七回卒業式が挙行されました。男子一八六名、女子二二六名の計三二二名が学び舎を巣立ちました。

大井会長は卒業生諸君に「夢は逃げない。逃げるのは自分である。」というある作家の言葉を紹介し、「人生のあらゆる局面でこの言葉を思い起こし、夢の実現に向け頑張っていたきたい。将来、仙台二高卒業生として悔いのない人生を歩んで欲しい。願わくは、各界のリーダーとしてこの国を引っ張って欲しい。また、一同窓生として是非、同窓会活動に積極的に参加して、国、内外で活躍している素晴らしい先輩諸兄と誼を通じて、人間としての深さ、幅を広げて欲しい。」とはなむけの言葉を贈りました。



卒業式

平成二十六年年度

同窓会入会式

卒業式を目前に控えた二月二十七日(金)、大井会長以下理事會会メンバーと各回期評議員併せ十五名が参列して高六十七回生三二二名の同窓会入会式が行われました。

大井会長は「諸君の同窓会への入会を歓迎する。今後とも母校への愛校心を忘れないでほしい。」と挨拶。会長から代表の鈴木麻優さん(新評議員)に卒業記念品(電波時計と卒業証書を入れる筒)が贈呈されました。柘澤副会長から同窓会の概要説明の後、会長から評議員・常任委員の委嘱状が交付され、代表して新評議員の齋藤樹君(前応援団長)が「伝統ある



新評議員・常任委員の面々(同窓会入会式後)

二高同窓会に入会させていただき光栄に思い、誇りをもって前進していきたい。」と挨拶しました。なお、二人の新評議員のほか次の七名が常任委員に選任されました。(常任委員) 藤沢 留美 佐藤 真穂・渡邊 千寛 藤波 裕太・澤田 万尋 大友 拓海・加納 伸

平成二十七年年度 入学式

四月八日(水)平成二十七年年度の入学式が挙行されました。男子一九六名、女子一二四名の三二〇名の新二高生の誕生です。渡邊幸雄校長(高26回)による式辞の後、新入生代表の北山 拓君の力強い宣誓があり、続いて千葉敏彦PTA会長(高34回)、大井龍司同窓会会長(高10回)の二人から祝辞がありました。大井会長からは、①創立一一五周年を数える仙台二高の輝かしい伝統を守るためには、単に引き継ぐというだけではなく、更に高めるよう努力が必要であることを心に刻んで欲しい。②二高は単に進学のための学校ではなく、全人的な教育を目指すところである。勉強だけでなく様々なことに挑戦し、経験することによって可能性が拡がり能力を高め、卒業時には「我、何をなすべきか」という人生の目標

在籍生徒数 平成27年4月8日 現在
普通科1学年8クラス(定員320名)

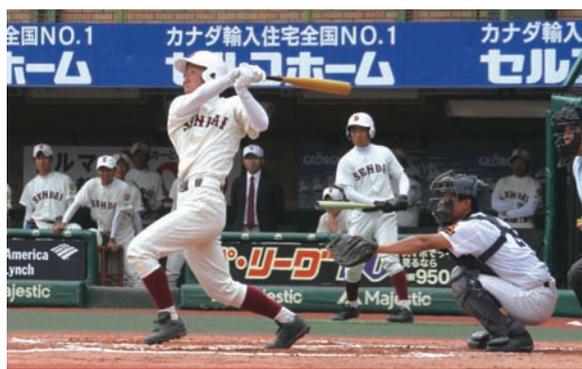
1年	320名	男子196名、 女子124名
2年	322名	男子192名、 女子130名
3年	326名	男子203名、 女子123名
計	968名	男子591名、 女子377名



入学式

を見つけることにつながって欲しい。③孔子の「苗にして秀でざるものあり、秀でて実らざるものあり」という言葉を引いて日々の努力が大切である。というお祝いと励ましの言葉が贈られ、新入生一同引き締まった顔で聞き入っていました。(理事會)

平成二十七年五月九日(土)にコボスタ宮城において、戦後七十回目の仙台二高・一高硬式野球定期戦が開催されました。昨年は、二高が「歴史的」とも言える大逆転勝利を納め、大いに溜飲を下げました。連勝をかけた今年の一戦は、一高に先制されてもすぐに追いつく、序盤から一点を争う試合展開となりました。試合途中から小雨が降る中、二高生は声の限りに応援しましたが、七回に三点を入れられ九回にはダメ押し的一点を追加されてしまいました。それでも、九回裏の攻撃では満塁まで粘りましたが、あと一



定期戦
二高惜敗!

3 部定期戦結果速報

試合結果

バレーボール 二高 3 - 0 一高 <勝ち>
 柔道 二高 一鄙人残し 一高 <負け>
 バスケットボール 二高 80 - 85 一高 <負け>



本が出ず 2 - 7 で惜敗しました。
 これで、戦後の対戦成績は、二高
 の 30 勝 31 敗 9 分となりました。

平成27年度 同窓会総会のご案内

1. 日 時：平成27年 7 月 4 日（土） 総 会 17 時（受付開始は16時30分）
 特別講演 17 時 45 分
 懇 親 会 19 時 00 分
2. 場 所：江陽グランドホテル<<地下鉄広瀬通下車 西 1 番出口徒歩 0 分>>
 TEL：022-267-5111
3. 懇親会費：6,000円（学生の方は2,000円）
4. 申込締切：6 月 26 日（金）
 ★懇親会費は当日、会場でお支払い下さい。
 ★出席申込は、下記の申込先へFAX、電話又はEメールでお願いします。
5. 申 込 先：〒980-8631 仙台市青葉区川内澁橋通1
 仙台二高同窓会事務局 TEL 022-221-5651 FAX022-221-5686
 Eメール qqnt4329@wonder.ocn.ne.jp
6. 当番回期：高26、27、38、39、50、51回
 上記回期の方々は評議員、常任委員を中心にご協力をお願いします。
7. 関連企画
 - ・懇親会アトラクション
 常磐木学園フラガール愛好会
 顧問 横山ゆかり先生のもと、12名の乙女が出演します
 第2回フラガールズ甲子園優勝！突然会場が南国ムードあふれるナイアガラガー
 デンに早変わり。会食がより一層美味しくなります！！
 - ・パネルディスカッション
 「応援団幹部という生き方」
 42年前の応援団幹部が当時の思い出とその後の人生を語ります。
 パネラーは応援団長(千葉和俊氏・高26)、副団長(池田明史氏・高26)、幹事長(伊
 藤豊氏・高26)の3名、コーディネーターは阿部孝一氏(高26)です。
 - ・母校案内ツアー（当日総会前実施：二高正面玄関前15時集合）

同期の方、クラブの方、お誘い合わせの上、多数ご参加ください。

会費納入
について

会費納入状況の推移
並びに会費納入のお願い

昨年度は会費についての目標を
会報発送者一四七四〇人に対し納
入者数三四〇〇人（会報発送者数
の23%）、納入額を一〇二〇万円
と設定し、会員の皆さんへ会報や
ニュースレター、メルマガリス
トで納入をお願いしましたが、後
一步のところで目標未達と言う残
念な結果に終わりました。しかしな
がら平成二十四年以降、納入率は
回復基調にあり、その目標も皆さ
んのご協力で遠からず達成される
ものと期待しています。特に卒業
回期が60回以降の若手OBの納入
率が比較的高いことは心強い所で
す。

また、資料でもわかるように七
年間連続してベスト10入りしてい
る回期が高11回をはじめとして高
10、12、14回の四回期あり、高4、
6、8、15回も大きな貢献をして
いただいていることに對し、この
場を借りて心より感謝申し上げます。
更にこの三年間では高21、22
回が連続してベスト10入りし、新
しい勢いも感じられます。
いままでもなく同窓会の運営は
全て会費によって成り立ってお

り、活性化の指標としても納入額
は大きな意味を持っています。理
事会としてはこれからも日本一の
同窓会を目指して活動を続けて行
く所存ですが、そのために一人で
も多くの会費を収めていただくよ
う切にお願いいたします。お気持ち
はありながらお忘れの方が多数お
られるものと考えますが、どうか
身近の会員相互にお声かけを頂き
ながら納入促進にご協力くださ
い。

「納入方法」

会報に同封した振込用紙を
お使いください。郵便局、銀
行両方で利用できます。また
下記の銀行口座にお振込みい
ただいても結構です。その際
は振込手数料を差し引いてい
ただき、お名前と卒業回期（あ
るいは卒業年）をご記入願
います。

「振込先」

◇七十七銀行 芭蕉の辻支店
普通口座
口座番号 〇〇九七八四五
宮城県仙台第二高等学校
会長 大井 龍司
同窓会

同窓会費納入及び、納入額ベスト10回期の推移

	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
納入総額	8,608,000		7,998,000		9,189,000		9,045,000		9,571,000		9,873,000		9,597,100	
納入者数	2,869		2,666		3,057		3,015		3,190		3,289		3,199	
順位	高8	334,000	高11	339,000	高11	318,000	高11	354,000	高11	363,000	高11	342,000	高11	324,000
2	高11	333,000	高6	264,000	高4	255,000	高10	285,000	高10	309,000	高22	303,000	高22	312,000
3	高60	291,000	高4	249,000	高14	252,000	高14	285,000	高64	285,000	高10	288,000	高10	291,000
4	高10	270,000	高9	246,000	高4	234,000	高4	261,000	高14	282,000	高12	282,000	高21	267,000
5	高6	258,000	高10	243,000	高10	231,000	高9	252,000	高12	276,000	高14	276,000	高14	258,100
6	高14	258,000	高14	243,000	高9	225,000	高12	252,000	高4	264,000	高4	258,000	高18	258,000
7	高9	249,000	高12	225,000	高15	222,000	高6	243,000	高21	258,000	高15	258,000	高4	255,000
8	高12	207,000	高5	222,000	高3	216,000	高8	234,000	高64	252,000	高21	258,000	高12	255,000
9	高16	207,000	高8	216,000	高12	213,000	高15	231,000	高9	252,000	高65	255,000	高66	249,000
10	高15	201,000	高61	210,000	高5	192,000	高3	225,000	高22	252,000	高6	252,000	高15	243,000
		2,608,000		2,457,000		2,358,000		2,622,000		2,793,000		2,772,000		2,712,100

平成26年度 同窓会費納入状況

回期	会報 発送数	口数	入金額	回期	会報 発送数	口数	入金額	回期	会報 発送数	口数	入金額	回期	会報 発送数	口数	入金額
中28	0	0	0	3	134	65	195,000	25	198	63	189,000	47	227	17	51,000
29	1	0	0	4	156	85	255,000	26	200	59	177,000	48	218	18	54,000
30	0	1	3,000	5	152	67	201,000	27	207	39	117,000	49	221	19	57,000
31	0	0	0	6	177	80	240,000	28	185	46	138,000	50	187	16	48,000
32	1	1	3,000	7	141	61	183,000	29	180	32	96,000	51	193	17	51,000
33	1	1	3,000	8	177	65	195,000	30	189	42	126,000	52	188	13	39,000
34	2	4	12,000	9	189	77	231,000	31	175	30	90,000	53	205	13	39,000
35	2	0	0	10	206	97	291,000	32	216	47	141,000	54	226	13	39,000
36	2	1	3,000	11	216	108	324,000	33	197	43	129,000	55	201	18	54,000
37	1	2	6,000	12	228	85	255,000	34	189	31	93,000	56	221	21	63,000
38	1	3	9,000	13	196	68	204,000	35	193	35	105,000	57	222	18	54,000
39	1	8	24,000	14	213	87	258,100	36	191	37	111,000	58	229	16	48,000
40	30	7	21,000	15	208	81	243,000	37	191	29	87,000	59	254	22	66,000
41	28	8	24,000	16	212	78	234,000	38	179	25	75,000	60	261	34	102,000
42	34	15	45,000	17	218	79	237,000	39	185	26	78,000	61	263	29	87,000
43	38	14	42,000	18	208	86	258,000	40	202	29	87,000	62	269	27	81,000
44	54	25	75,000	19	177	71	213,000	41	200	19	57,000	63	278	36	108,000
45	52	20	60,000	20	181	60	180,000	42	217	16	48,000	64	282	45	135,000
46	70	24	72,000	21	239	89	267,000	43	188	20	60,000	65	308	69	207,000
47	78	23	76,000	22	266	104	312,000	44	183	15	45,000	66	291	83	249,000
高1	81	23	69,000	23	180	63	189,000	45	219	16	48,000	回期記載なし			8,000円
2	115	41	123,000	24	188	52	156,000	46	207	23	69,000	合計			9,597,100円

理事会からのお知らせ

モニュメント建立プロジェクトに「協力を！」

この度、市民が一体となった「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント 建立プロジェクト」が立ち上がり、その彫刻モニュメント（風の環と絆）の制作が、現在ローマ在住の世界的彫刻家・画家で、母校の同窓生でもある武藤順九氏（高20回）が担当することになりました。同窓会理事会としては、そのプロジェクトの意義を認め、同窓生に幅広く支援・協力を呼びかけることにしました。なお武藤氏にも、その旨をお伝えしています。このモニュメントは本年九月からイタリアの氏の工房で一年かけて制作、完成後宮城野区の夢メッセみやぎ敷地内に仮設置予定。最終的には石巻市に計画されている復興記念公園に設置されます。

本プロジェクトの期間は復興祈念公園計画の進捗次第で数年間、寄付は百円から受け付けること。振込口座は「七十七銀行 本店営業部 普通口座 8012008 モニュメント建立（コンリリュウ）プロジェクト」。

事務局
電話 022-721-4311
FAX 022-211-4437
Eメール
3.11.monument@gmail.com

同窓会としては、総会などの行事の際、受付にBoxを設置し、ご寄付に備えます。多くの同窓生のご支援・ご協力をお願いいたします。（理事会）



モニュメント「風の環と絆」のミニチュアを前に
武藤順九氏（左）と大井同窓会長

今期を以ってご退任される鈴木副会長より

「副会長退任のご挨拶と御礼」

副会長 鈴木 誠一（高22回）

仙台二高同窓会活性化担当副会長の高22回卒、鈴木誠一です。このたび、七月四日（土）仙台二高同窓会総会をもって、退任する運びとなりました。

平成二十年から七年の長きにわたって、母校仙台二高の理事の一人として、同窓会の活性化の一助を担えたことは、私の大きな喜びです。七年もの長い間、同窓生の皆様には、お支えいただき大変お世話になりました。

理事としての七年間の思い出をお話したいと思います。七年前理事就任の挨拶で、私は、「明るく楽しい同窓会作り」を表明しました。西澤潤一会長、大井龍司会長と、お二人の偉大な会長の下で、同窓会事業を運営致すことができました。戸田慶三先生、奥山雅敏先生、村上二郎先生、三名の二高の先生方は、事務局長として、連絡調整の激務を、熱心に果たしていただきました。

私は、最初に私のやるべきことは、何かと考え、大井龍司会長に懇願し、新たに活性化部門を立ち上げさせていただきました。活性化とは、何かを考えた時、私は、次の三点に目標を絞りました。①総会、PT同窓の出席者人数、②

同窓会費納入金額、③評議員会出席者人数。この三点を目標指標に据えました。この三点の数値を上げるために、数値目標を掲げて、達成に努力しました。

具体的な手段として、①横軸の卒業同期評議員二名制、②縦軸のクラブOB会を掲げました。またリアルタイムの連絡網として、①仙台二高同窓会 Google Mailing List、②仙台二高同窓会 Mailing List、③仙台二高同窓会 Mailing List、④仙台二高同窓会 Mailing List、⑤仙台二高同窓会 Mailing List を立ち上げました。この二つの連絡網も機能し出しました。特に理事会MLでは、ML上での議論も活発となりました。願わくば、仙台二高同窓会MLで、建設的な情報発信、共有が、今一層なされれば、同窓会活性化の一助になるものと考えます。

大井龍司会長の新体制に移行してから、目覚ましい改革につぐ改革で、とても風通しの良い同窓会となりました。大井会長は、必ず毎月の理事会に出席され、自ら議長を務められ、決まった事項は、すぐ実行するという、決議と実行のスピード感は、卓越したものがありません。個々の事業のすばらしさについては、皆様のご存知の通りです。特に、①各支部の充実、

特に海外支部開設、②一・二高硬式野球定期戦後のイーグルスネストでの祝勝会、③北陵祭での同窓会ブース出店、④PT同窓でのPTAと同窓会との共同企画、⑤同窓会入会式への評議員の出席、等々は、画期的なものでした。



今、理事を去ることにあたり、現理事の皆様は、とてもすばらしく、大井会長の下で、大変まともなやりかたで、ますます新しい若い理事が加わって、ますます仙台二高同窓会は発展するものと信じております。

今後の課題として三点だけお願いしたいと思えます。①二十代、三十代の若い世代が魅力を感じる同窓会を作る。②女性同窓生を同窓会運営により関わりを持っていただく。③いまだ道半ばの縦軸の

クラブOB会の充実をはかる。副会長退任後は、在野から私のできる範囲で、微力ながら、今後、同窓会の更なる活性化に協力したいと考えております。世界に冠たる仙台二高同窓会、ますますのご発展を。七年間ありがとうございました。

「同期会開催状況

アンケート結果

本年四月下旬に各同期評議員の協力を得て、同期会の開催状況についてアンケート調査を実施しました。送付した61回期のうち32回期から回答がありましたので、その概要を報告します。

①「同期会を開催している」が23回期、「開催していない」が9回期。現在、開催していない回期もいずれ開催したい意向でした。

②「同期会の名称」は卒業年次に因むものが多く、また、恩師から命名していただいたという回期や校歌からとった回期もあり、それぞれ愛着と誇りを持っているようです。

③「開始時期」は卒業後十〜三十年とまちまちですが、卒業後二十年前後の、とりわけ四十二歳の厄年や三十六歳の

叙勲受章者

平成二十六年秋の叙勲受章者（内閣府）

瑞宝小綬章 農林水産行政事務功労
元食品総合研究所長 鈴木 建夫殿（高14回）

瑞宝双光章 教育功労
元小学校長 小關 八郎殿（高14回）

平成二十七年春の叙勲受賞者（内閣府）

旭日小綬章 金融功労
元仙台銀行頭取 三井 精一殿（高14回）

同窓会当番回期（幹事）に当たる年に始めた回期が比較的多いようです。

④「開始のきっかけ」も各回期ごとに様々ですが、当番回期（幹事）に当たることがきっかけになったとする回期が多かったです。

⑤「開催回数」は年一〜三回が多く、数年に一回の回期もありました。「開催場所」は、仙台、東京が多く、仙台と東京とで交互に開催している回期や東海地区で開催している回期もありました。

⑥「出席者数」も二十人から八十人までと幅がありました。が、当番回期（幹事）に当たる年や厄年や還暦などの節目の年に多く集まっているようです。

⑦「特筆すべき事項」では、定期的にゴルフコンペや囲碁の大会を開催している回期や農耕

や登山の愛好会がある回期また、毎年、ボジョレー・ヌーヴォーを解禁日に飲む会を催す回期、更に毎月定例日に飲み会を十八年も続けているという驚異的な回期もありました。

なお、紙幅の関係でアンケートの概要報告は以上ですが、若い世代の回期から「同期会を開催したいと考えているので各回期の開催状況を教えて欲しい」との声もあり、同窓会HPに詳細を掲載したいと考えています。まだ、アンケートをお寄せいただいていない回期にあっては、是非、事務局まで六月中くらいにいただければ幸いです。様式は問いません。

今回のアンケートにご回答を頂いた評議員各位には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

理事会

同窓生からの寄贈本の紹介

- 弓道読本 他計47冊 横山 仁平様（中47回）
- 折々に認めたもの 布施康二郎様（高12回）
- 秩序のミクロロジ 高城 玲様（高39回）
- 一文学愛好家の気ままな散歩 わが読書日記抄 石川 裕清様（高22回）
- 軍神になりそこねた男 日本海軍兵曹長・佐藤高志の記憶 河内（旧佐藤）達美様（高21回）
- 謎解き「南京事件」東京裁判の証言を検証する 阿羅 健一様（高14回）
- 頭は文明に 体は野蛮に ー海洋地質学者、父・田山利三郎の足跡ー 海老名卓三郎様（高11回）
- 新釈 奥鹽地名集 三浦 一泰様（高21回）
- 『歌仙 両吟 六根 楽未央』 井上 功様（高10回）
- 『歌仙・両吟 おちこちにの巻』 岩瀬 慶孝様（高4回）
- 『造形1号〜4号』 〃
- 『仙二高新聞 2、8、9、12号』 〃

故菊地 喬氏からの寄付金の使途について

故菊地 喬氏（中46回）のご遺族から故人の遺志なので同窓会活動に役立てて欲しいと金二〇〇万円のご寄付を賜りました。理事会ではその使途について、評議員会に諮りながら検討してまいりました。このほど「各回期、各支部、各職域、各クラブOB会に対して、希望に応じて校章、名称入りの旗を作成し贈呈する費用に充てる。」との結論にいたしましたのでご報告いたします。

同窓会各組織の活動の更なる活性化に繋がれば、故人のご遺志に沿うものと考えております。なお、詳細については事務局にお問い合わせください。

過去 3 年間の大学入試合格状況

() 内は現役内数

年度別	27年 3 月	26年 3 月	25年 3 月
大学	合格者数	合格者数	合格者数
国立大学	234 (127)	253 (145)	238 (131)
私立大学	20 (7)	18 (10)	11 (5)
私立大学	401 (116)	491 (154)	371 (124)
大学校・専修・その他の学校	7 (1)	3 (1)	3 (2)
総 計	662 (251)	765 (310)	623 (262)
小樽商大		1	
北海道大	8 (2)	14 (8)	10 (5)
室蘭工大	1 (1)		
弘前大	1	6 (3)	4 (2)
岩手大	6 (3)	6 (6)	2
文	10 (8)	7 (5)	8 (8)
法	10 (8)	7 (5)	5 (3)
経済	10 (4)	10 (7)	12 (7)
教育	3 (2)	2	7 (4)
理	10 (7)	7 (4)	10 (8)
工	25 (19)	39 (23)	31 (23)
医	14 (5)	21 (8)	15 (6)
保	3 (2)	6 (2)	6 (1)
歯	8 (4)	3 (2)	11 (5)
薬	5 (2)	5 (5)	7 (4)
農	8 (7)	9 (4)	4 (3)
東北大小計	106 (68)	116 (65)	116 (72)
宮城教育大	11 (7)	5 (4)	7 (5)
秋 田 大	1 (1)	1	3 (2)
山 形 大	25 (10)	33 (17)	23 (8)
福 島 大			3 (2)
茨 城 大	1 (1)	2 (2)	1
筑 波 大	2 (1)	1 (1)	6 (4)
宇 都 宮 大		3 (2)	2
埼 玉 大	4 (2)	3 (1)	4 (1)
千 葉 大	1 (1)	10 (6)	5 (3)
お茶の水女子大	1		1 (1)
東京海洋大		1 (1)	
電気通信大	3	2	1
文 I	2 (1)	2 (1)	1
文 II			2 (1)
文 III	2 (1)	1 (1)	3 (1)
理 I	12 (8)	7 (5)	1 (1)
理 II	1	2 (2)	1
理 III			
(後期)			
東京大小計	17 (10)	12 (9)	8 (3)
東京医歯大		2 (1)	2
東京外語大		2 (1)	
東京学芸大	1 (1)	1	
東京芸術大	2 (2)		
東京工業大	4 (2)	1 (1)	2 (2)
東京農工大			2 (1)
一 橋 大	8 (7)	6 (6)	5 (1)
横浜国立大	2		3 (1)
新 潟 大	5 (2)	3 (2)	3 (2)
富 山 大	1		
金 沢 大		2	
山 梨 大	1	1 (1)	
信 州 大		1	1 (1)
静 岡 大	1 (1)	2	
名古屋大	2		1 (1)
京 都 大	11 (2)	9 (4)	11 (6)
大 阪 大	2 (1)	1 (1)	5 (4)
神 戸 大		3 (2)	5 (4)
奈良女子大			1
広 島 大	5 (2)	1 (1)	1
九 州 大		1	
九州工大	1		
熊 本 大		1	
国立大学合計	234 (127)	253 (145)	238 (131)

年度別	27年 3 月	26年 3 月	25年 3 月
大学	合格者数	合格者数	合格者数
釧路公立大		1	
岩手県立大	1		
宮 城 大	6 (3)	4 (3)	3 (2)
国際教養大	1 (1)	1 (1)	1 (1)
山形県立保健医療大		1 (1)	
福島県医科大	3 (1)	3	5 (1)
茨城県立医療大			
前 橋 工 大		1 (1)	
高崎経済大	2	1	1 (1)
首都大東京	1		
横浜市立大	2 (1)	1 (1)	
金沢美術工芸大		1 (1)	
都留文科大	2 (1)		1
静岡県立大		1	
滋賀県立大		1 (1)	
京都府立大		1 (1)	
大阪市立大	1		
大阪府立大	1	1	
公立大学合計	20 (7)	18 (10)	11 (5)
国公立大学合計	254 (134)	271 (155)	249 (136)
酪農学園大	1		
北海道医療大	1		1
岩手医科大	11 (1)	9	5
仙 台 大			1 (1)
東北学院大	14 (3)	16 (2)	4 (2)
東北工業大	1 (1)		1
東北福祉大	3 (2)	2 (2)	
東北薬科大	13 (3)	19 (6)	5 (1)
宮城学院女子大		1	
東北芸術工科大	1 (1)		
奥 羽 大	1		
自治医科大	1 (1)		3 (1)
獨協医科大	2	3	1
文星芸術大			1
埼玉医科大			1
文 教 大		1 (1)	
埼玉学園大			1
神田外語大			2 (2)
東京歯科大		1	2
明 海 大	1	1 (1)	
尚美学園大	1 (1)		
東京歯大	1		
千葉科学大	1		
青山学院大	4 (2)	3 (2)	7 (4)
亜細亜大			
学習院大		1	2
北 里 大	4	7 (1)	9 (2)
杏 林 大	4	3 (1)	1
慶應義塾大	27 (11)	15 (5)	20 (5)
工学院大		6 (3)	
國學院大	3 (2)	1 (1)	1 (1)
国際基督教大	1 (1)		1 (1)
駒 澤 大	3	3 (1)	5 (2)
芝 浦 工 大	13 (2)	23 (5)	13 (3)
順天堂大	5	3	1
上 智 大	5 (5)	2 (1)	5 (3)
昭和 大	2		2 (1)
昭和薬科大			
成 蹊 大	3	1	
成 城 大	2 (1)		1
聖心女子大			
専 修 大		1 (1)	1
創 価 大		1 (1)	3 (3)
多摩美術大	1 (1)		
中 央 大	35 (14)	59 (21)	34 (16)
津 田 塾 大	3 (3)	13 (3)	5

年度別	27年 3 月	26年 3 月	25年 3 月
大学	合格者数	合格者数	合格者数
帝 京 大			1
東 海 大	2	11 (4)	2 (1)
東京医科大	2	1	
東 京 音 大	1 (1)		
東京慈恵会医大	1	2	2
東京家政大		1 (1)	
東京女子大	2 (2)	4 (2)	2 (1)
東京女子医科大		1	2 (1)
東京電機大	3		2 (1)
東京都市大		3	
東京農業大	4	11 (7)	3 (1)
東京薬科大		1	1
東京理科大	55 (7)	73 (15)	37 (7)
東 邦 大	1	1	1
東 洋 大	1	2 (1)	2
日 本 大	10 (3)	8 (5)	7 (2)
日本医科大	2	3	2
日本歯科大	1		5
日本獣医生命大	2		
日本女子大	2	1 (1)	4 (4)
法 政 大	20 (5)	26 (7)	18 (8)
星 薬 大		1	
武 蔵 野 大	3		
武蔵野美大	1 (1)		
明 治 大	49 (19)	55 (15)	36 (18)
明治学院大	1	1 (1)	2
武蔵野音大		1 (1)	
立 教 大	7 (5)	12 (6)	28 (7)
明 治 薬 大		1	
立 正 大			1 (1)
早 稲 田 大	38 (14)	42 (16)	39 (16)
神 奈 川 大	1	1 (1)	
フェリス女大	1 (1)		
新 潟 薬 大	1		
金沢医科大	1		1
松本歯科大			1
愛 知 医 大	1		
愛知学院大			
京都造形芸大		1 (1)	
同 志 社 大	6 (1)	9 (4)	11 (3)
同志社女大	1		
立 命 館 大	9 (2)	19 (5)	15 (2)
龍 谷 大			
大阪医科大		1 (1)	
大 阪 歯 大	1		
関西学院大	1		
関 西 大			2
近 畿 大		1 (1)	1
甲 南 大		1 (1)	
神戸芸術工科大			1
神戸女学院大			3 (3)
産 業 医 大		1	
福 岡 大	2		
私立大学合計	401 (116)	491 (154)	371 (124)
防衛大学校	1		
防衛医科大	4	2	2 (1)
航空保安大学校		1 (1)	
大学校合計	5	3 (1)	2 (1)
専修大	2 (1)		1 (1)
その他合計	2 (1)		1 (1)

部活動の記録／運動部成績

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)			
水 泳 部	堀合孝太郎 50m自由形 予選3位 決勝4位(入賞) (予選、決勝とも標準記録突破) 100m自由形 予選3位 決勝5位(入賞) (予選、決勝とも標準記録突破) 以上全国高校総体 (8月17～20日 千葉県国際総合水泳場)出場決定 新富健太 50m自由形 予選10位 決勝10位 佐々木建晟 100m自由形 予選9位 決勝9位 全国高校総体(8月17～20日 千葉県国際総合水泳場) 400mリレー 予選52位 予選落ち 堀合孝太郎・新富健太・佐々木建晟・永作太一 堀合孝太郎 50m自由形 予選41位 予選落ち 100m自由形 予選49位 予選落ち 国民体育大会(9月12～14日 長崎市民総合プール) 少年男子B 50m自由形 4位 堀合孝太郎 県新人大会(8月31日～9月2日 宮城県総合運動公園総合プール) 男子 総合3位(73点) 50m自由形 1位 堀合孝太郎 5位 永作太一 100m自由形 1位 堀合孝太郎 3位 永作太一 8位 佐々木健朗 200m自由形 6位 跡部皓斗 8位 植田雅大 400m自由形 6位 植田雅大 1500m自由形 5位 跡部皓斗 4×100mリレー 2位 (堀合孝太郎、植田雅大、跡部皓斗、永作太一) 4×200mリレー 3位 (植田雅大、堀合孝太郎、佐々木健朗、永作太一) 4×100mメドレーリレー 4位 (佐々木健朗、植田雅大、堀合孝太郎、永作太一) 女子 100m背泳ぎ 8位 森戸文香 200m背泳ぎ 7位 森戸文香 4×100mメドレーリレー 8位 (森戸文香、佐竹恭佳、三好麻優子、今野葵) 東北新人水泳大会(10月17日・18日 宮城県総合運動公園総合プール) 50m自由形 1位 堀合孝太郎(県高校新記録、大会新記録) 100m自由形 3位 堀合孝太郎 7位 永作太一 4×100mリレー 5位 入賞 (堀合孝太郎、植田雅大、跡部皓斗、永作太一) 4×100mメドレーリレー 9位 予選落ち (佐々木健朗、植田雅大、堀合孝太郎、永作太一) 水球 平成26年度宮城県高等学校総合体育大会水泳(水球)競技会 (6月29日ヒルズ仙南プール) 仙二10-34柴田 平成26年度宮城県高等学校新人水泳大会(水球)競技会 (10月26日ヒルズ仙南プール) 仙二8-20柴田 第62回東北高等学校選手権水泳(水球)競技大会 (7月12・13日山形総合プール) 二高 0勝4敗 5/5位 第69回国民体育大会水泳(水球)競技東北ブロック予選会 (8月2・3日ヒルズ仙南プール) 宮城県チーム(加藤和洋代表として出場)2勝2敗3/6位 第21回東北高等学校春季水球競技大会 (5月24日・25日盛岡市総合プール) 仙二 1勝4敗 6/8位 第27回東北選手権水球競技大会 (11月1～3日秋田県立総合プール) 仙二 0勝4敗 6/6位	硬式野球部 第8回春季宮城県高等学校野球中部地区大会 第1回戦(4月13日 宮城広瀬球場) 仙台二8-7 仙台工 第2回戦(4月20日 仙台市民球場) 仙台二4-5 泉松陵 敗者復活 第1回戦(4月26日 仙台市民球場) 仙台二14-8 仙台東 敗者復活 第2回戦(4月29日 仙台市民球場) 仙台二3-4 仙台一 第96回全国高等学校野球選手権宮城大会 第1回戦(7月6日 鹿島中央野球場) 仙台二4-8 泉松陵) 第8回秋季宮城県高等学校野球中部地区大会 第1回戦(9月3日 仙台市民球場) 仙台二3-2 仙台工) 第2回戦(9月6日 仙台市民球場) 仙台二7-0 宮城広瀬) 仙台二高一回戦硬式野球定期戦 仙台二高14-10 仙台一高(戦後通算30勝30敗9引き分け) 軟式野球部 仙台一高・仙台二高 軟式野球定期戦(名取市民球場 5月17日) 4対3 勝 戦後通算 30勝24敗 第63回宮城県高等学校軟式野球春季大会(松島球場 5月29日) 1回戦 仙台二高V S 仙台商業 0対1負 第59回全国高等学校軟式野球選手権宮城大会 (松島球場 7月18日) 1回戦 仙台二高V S 東北学院 2対14負 第55回宮城県高等学校軟式野球秋季大会 (松島球場10月4日、6日) 1回戦 仙台二高V S 明成 6対2勝 2回戦 仙台二高V S 仙台 0対3負	軟式野球部 仙台一高・仙台二高 軟式野球定期戦(名取市民球場 5月17日) 4対3 勝 戦後通算 30勝24敗 第63回宮城県高等学校軟式野球春季大会(松島球場 5月29日) 1回戦 仙台二高V S 仙台商業 0対1負 第59回全国高等学校軟式野球選手権宮城大会 (松島球場 7月18日) 1回戦 仙台二高V S 東北学院 2対14負 第55回宮城県高等学校軟式野球秋季大会 (松島球場10月4日、6日) 1回戦 仙台二高V S 明成 6対2勝 2回戦 仙台二高V S 仙台 0対3負	陸上競技部 県高校総体(5/23～26) 800m 佐藤宏夢 第3位 走高跳 鈴木琢斗 第4位 5000m 相澤拓実 第6位 110mH 福山皓太郎 第6位 走幅跳 浅尾真結子 第7位 5000mW 白井 花 第7位 砲丸投 野村周平 第8位 女1600mR 浅尾・大坂・菊池・高橋 第8位 東北大会(6/13～16) 走高跳 鈴木琢斗 第6位(インターハイ出場) 5000m 相澤拓実 決勝29位 800m 佐藤宏夢 予選敗退 110mH 福山皓太郎 予選敗退 インターハイ(8/2 甲府市中銀スタジアム) 走高跳 鈴木琢斗 予選敗退 仙台一高・二高定期戦(8/9 仙台市陸上競技場) 総合得点 仙台二高210点-仙台一高180点 仙台二高勝利(6連覇) 県新人大会(9/4～7 利府ひとめぼれスタジアム宮城) 5000m 相澤拓実 第4位 110mH 福山皓太郎 第4位 100mH 佐々木麻悠子 第4位 走高跳 鈴木琢斗 第4位 三段跳 門脇 凌 第4位(以上5名東北新人大会出場) 砲丸投 野村周平 第5位 3000m 田中 碧 第6位 走高跳 帆足莉子 第6位 三段跳 我妻春太 第6位 400m 高橋菜由 第8位 東北新人大会(9/27～29 福島市) 5000m 相澤拓実 第6位 走高跳 鈴木琢斗 第11位 三段跳 門脇 凌 第15位 110mH 福山皓太郎 予選敗退 100mH 佐々木麻悠子 予選敗退 全国高校駅伝競走大会宮城県予選会(10/25 栗原市) 男子 第6位 女子 第13位	水 泳 部 競泳 県高校総体(6月13日～15日 宮城県総合運動公園総合プール) 男子 総合3位(71点) 50m自由形 2位 堀合孝太郎 4位 新富健太 8位 永作太一 100m自由形 3位 堀合孝太郎 4位 佐々木建晟 6位 永作太一 200m自由形 1位 佐々木建晟 400mリレー 3位 (新富健太、堀合孝太郎、永作太一、佐々木建晟) 800mリレー 3位 (植田雅大、新富健太、堀合孝太郎、永作太一) 400mメドレーリレー 3位 (佐々木建晟、新富健太、堀合孝太郎、永作太一) 東北水泳大会(7月18～20日 秋田県立総合プール) 400mリレー 予選2位 決勝6位(入賞) (予選で標準記録突破) 新富健太・堀合孝太郎・永作太一・佐々木建晟	
	女子 総合3位(73点) 50m自由形 1位 堀合孝太郎 5位 永作太一 100m自由形 1位 堀合孝太郎 3位 永作太一 8位 佐々木健朗 200m自由形 6位 跡部皓斗 8位 植田雅大 400m自由形 6位 植田雅大 1500m自由形 5位 跡部皓斗 4×100mリレー 2位 (堀合孝太郎、植田雅大、跡部皓斗、永作太一) 4×200mリレー 3位 (植田雅大、堀合孝太郎、佐々木健朗、永作太一) 4×100mメドレーリレー 4位 (佐々木健朗、植田雅大、堀合孝太郎、永作太一)					陸上競技部 県高校総体(5/23～26) 800m 佐藤宏夢 第3位 走高跳 鈴木琢斗 第4位 5000m 相澤拓実 第6位 110mH 福山皓太郎 第6位 走幅跳 浅尾真結子 第7位 5000mW 白井 花 第7位 砲丸投 野村周平 第8位 女1600mR 浅尾・大坂・菊池・高橋 第8位 東北大会(6/13～16) 走高跳 鈴木琢斗 第6位(インターハイ出場) 5000m 相澤拓実 決勝29位 800m 佐藤宏夢 予選敗退 110mH 福山皓太郎 予選敗退 インターハイ(8/2 甲府市中銀スタジアム) 走高跳 鈴木琢斗 予選敗退 仙台一高・二高定期戦(8/9 仙台市陸上競技場) 総合得点 仙台二高210点-仙台一高180点 仙台二高勝利(6連覇) 県新人大会(9/4～7 利府ひとめぼれスタジアム宮城) 5000m 相澤拓実 第4位 110mH 福山皓太郎 第4位 100mH 佐々木麻悠子 第4位 走高跳 鈴木琢斗 第4位 三段跳 門脇 凌 第4位(以上5名東北新人大会出場) 砲丸投 野村周平 第5位 3000m 田中 碧 第6位 走高跳 帆足莉子 第6位 三段跳 我妻春太 第6位 400m 高橋菜由 第8位 東北新人大会(9/27～29 福島市) 5000m 相澤拓実 第6位 走高跳 鈴木琢斗 第11位 三段跳 門脇 凌 第15位 110mH 福山皓太郎 予選敗退 100mH 佐々木麻悠子 予選敗退 全国高校駅伝競走大会宮城県予選会(10/25 栗原市) 男子 第6位 女子 第13位
	水球 平成26年度宮城県高等学校総合体育大会水泳(水球)競技会 (6月29日ヒルズ仙南プール) 仙二10-34柴田 平成26年度宮城県高等学校新人水泳大会(水球)競技会 (10月26日ヒルズ仙南プール) 仙二8-20柴田 第62回東北高等学校選手権水泳(水球)競技大会 (7月12・13日山形総合プール) 二高 0勝4敗 5/5位 第69回国民体育大会水泳(水球)競技東北ブロック予選会 (8月2・3日ヒルズ仙南プール) 宮城県チーム(加藤和洋代表として出場)2勝2敗3/6位 第21回東北高等学校春季水球競技大会 (5月24日・25日盛岡市総合プール) 仙二 1勝4敗 6/8位 第27回東北選手権水球競技大会 (11月1～3日秋田県立総合プール) 仙二 0勝4敗 6/6位					競泳 県高校総体(6月13日～15日 宮城県総合運動公園総合プール) 男子 総合3位(71点) 50m自由形 2位 堀合孝太郎 4位 新富健太 8位 永作太一 100m自由形 3位 堀合孝太郎 4位 佐々木建晟 6位 永作太一 200m自由形 1位 佐々木建晟 400mリレー 3位 (新富健太、堀合孝太郎、永作太一、佐々木建晟) 800mリレー 3位 (植田雅大、新富健太、堀合孝太郎、永作太一) 400mメドレーリレー 3位 (佐々木建晟、新富健太、堀合孝太郎、永作太一) 東北水泳大会(7月18～20日 秋田県立総合プール) 400mリレー 予選2位 決勝6位(入賞) (予選で標準記録突破) 新富健太・堀合孝太郎・永作太一・佐々木建晟
	サッカ ー 部 高校総体(県ベスト16) ・地区予選(4/30～5/11) 仙台二2-1 仙台 仙台二2-1 仙台一 仙台二0-3 東北 仙台二3-0 向山 ・県大会(5/31～6/1) 1回戦 仙台二3-0 古川黎明 2回戦 仙台二0-1 仙台城南 選手権大会(7/26～10/25) ・1次予選 仙台二4-1 石巻工業(延長) 仙台二1-0 多賀城 ・決勝トーナメント 1回戦 仙台二3-4 富谷 M2リーグ(5/18～12/23 高宮宮杯MリーグU-182部) 仙台二1-0 仙台一 仙台二8-1 宮城農 仙台二3-0 松島 仙台二0-2 聖和 仙台二1-0 石巻商 仙台二3-0 多賀城					水 泳 部 競泳 県高校総体(6月13日～15日 宮城県総合運動公園総合プール) 男子 総合3位(71点) 50m自由形 2位 堀合孝太郎 4位 新富健太 8位 永作太一 100m自由形 3位 堀合孝太郎 4位 佐々木建晟 6位 永作太一 200m自由形 1位 佐々木建晟 400mリレー 3位 (新富健太、堀合孝太郎、永作太一、佐々木建晟) 800mリレー 3位 (植田雅大、新富健太、堀合孝太郎、永作太一) 400mメドレーリレー 3位 (佐々木建晟、新富健太、堀合孝太郎、永作太一) 東北水泳大会(7月18～20日 秋田県立総合プール) 400mリレー 予選2位 決勝6位(入賞) (予選で標準記録突破) 新富健太・堀合孝太郎・永作太一・佐々木建晟

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
バスケット ボ ー ル 部	平成26年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会 1月10日(土) 2回戦 仙台二134(37-12、25-18、46-5、26-23)58気仙沼海洋 1月11日(日) 3回戦 仙台二97(28-7、30-18、16-23、23-21)67仙台商業 準々決勝 仙台二44(11-26、5-25、14-19、14-30)110東北学院 1月12日(月) シード決定戦 仙台二92(13-15、28-16、25-18、26-24)73仙台南 県第5位 (平成27年度宮城県高等学校総合体育大会シード権獲得)	サ ッ カ ー 部	仙台二1-0 東北生活文化 仙台二10-0 古川黎明 仙台二5-0 仙台南向山 仙台二0-2 仙台一 仙台二8-0 宮城農 仙台二6-1 松島 仙台二0-3 聖和 仙台二6-0 石巻商 仙台二1-1 多賀城 仙台二5-0 東北生活文化 仙台二11-0 古川黎明 仙台二5-1 仙台南向山 新人大会(県ベスト16) ・地区予選(10/1~10/10) 仙台二4-1 明成 仙台二0-0 城南 ・代表決定戦 仙台二2-0 仙台西 ・県大会(11/21~11/22) 1回戦 仙台二2-1 気仙沼 2回戦 仙台二0-1 東北学院
バ レ ー ボ ー ル 部	●第64回バレーボール定期戦(5月17日) 仙台二高1-3 仙台一高 通算成績 31勝33敗 ●第63回宮城県高校総体バレーボール競技(6月7日~9日) 1回戦 仙台二高2-0 宮城農業 2回戦 仙台二高0-2 古川工業 ●平成26年度全日本バレーボール選手権大会1次大会 (8月9日) 1回戦 仙台二高2-1 石巻 2回戦 仙台二高0-2 仙台一高 ●平成26年度(第35回)仙台市民総合体育大会バレーボール 競技(11月15~16日) 第3位/20チーム 予選リーグ 仙台二高2-0 泉 仙台二高0-2 仙台商業 決勝トーナメント 1回戦 仙台二高2-0 宮城工業 2回戦 仙台二高2-0 東北学院 3回戦 仙台二高0-2 仙台育英 ●平成26年度宮城県高等学校バレーボール男子選手権大会 仙塩地区予選会(3月22日)於:仙台二高 1回戦 仙台二高2-0 生文大 2回戦 仙台二高2-0 仙台南(仙塩地区予選会1位通過)	ラ グ ビ ー 部	県高校総体(5/24)石巻総合運動場 Aブロック(石巻高校、高専広瀬と合同) 1回戦 合同A(5-37)宮城高専名取 敗退 全国高校ラグビー大会(花園大会)宮城県予選 (8/31)県サッカー場 1回戦 仙台二(0-41)仙台一 敗退 新人大会 石巻高校と合同(10/29)石巻総合運動場 1回戦 合同(7-26)白石工業 敗退 東北高等学校ラグビー7人制大会 カップ戦優勝(宮城県選抜として:5名選出)
硬 テ ニ ス 部	第63回宮城県高等学校総合体育大会テニス競技 (5/30~6/1) 個人の部 男子シングルス 内山寛隆 ベスト16 上田貴之 ベスト32 阿部敬介 ベスト32 渡邊朋晃 ベスト32 男子ダブルス 阿部敬介・西澤 朔 ベスト32 女子シングルス 三輪早彩 ベスト16 藤沢瑠美 ベスト32 女子ダブルス 藤沢・三輪 ベスト16 団体の部 男子1回戦 仙台二2-1 蔵王 男子2回戦 仙台二2-0 多賀城 男子3回戦 仙台二0-2 黒川(ベスト8) 女子1回戦 仙台二1-2 利府 平成26年度宮城県高等学校新人テニス大会競技 (8/29~8/31 個人の部:10/3~10/5 団体の部) 個人の部 男子シングルス 西澤 朔 ベスト32 男子ダブルス 西川 智・倉林康太 ベスト32 大村勇索・白石悠馬 ベスト32 女子シングルス 半澤葉月 ベスト32 女子ダブルス 半澤・杉浦 ベスト32 団体の部 男子1回戦 仙台二2-3 泉館山 女子1回戦 仙台二3-2 向山 女子2回戦 仙台二1-4 利府	ハ ン ド ボ ー ル 部	宮城県春季ハンドボール選手権大会(4月17日~4月19日) 一回戦 仙台二22対19仙台西 二回戦 仙台二29対24東北 準々決勝 仙台二22対26仙台三 宮城県高等学校総合体育大会ハンドボール競技 (6月7日~9日) 一回戦シード 二回戦 仙台二29対28泉館山 準々決勝 仙台二17対30仙台三 国民体育大会宮城県予選(7月24日~26日) 一回戦 仙台二21対11泉松陵 二回戦 仙台二20対17仙台南向山 準々決勝 仙台二25対19仙台三 準決勝 仙台二19対29仙台南 仙台市民総体(8月10日~11日) 一回戦 仙台二16対12仙台西 二回戦 仙台二5対12仙台一→敗者Tへ 二回戦 仙台二17対5仙台 準々決勝 仙台二10対11仙台東 第63回宮城県高等学校ハンドボール競技新人大会 (11月6日~8日) 一回戦 仙台二21対14仙台高専 二回戦 仙台二15対16仙台南
ソ フ ト テ ニ ス 部	県総体 団体戦 男子 1回戦 0-②石巻西 女子 1回戦 ②-1気仙沼 2回戦 0-②ウルスラ学園英智 夏季大会(8月10日~11日) 男子 力丸・熊谷 1回戦 0-④石巻 女子 新沼・芳賀 1回戦 3-④白石 安池・安保 1回戦 ④-0一迫商 2回戦 ④-1佐沼 3回戦 ④-2宮城広瀬 4回戦 0-④聖和 ベスト32 宮本・田畑 1回戦 0-④名取	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部	第63回宮城県高等学校総合体育大会バスケットボール競技仙 塩地区予選会 1次リーグ(5/8 仙台市体育館) 仙台二86-78仙台工業 仙台二77-61宮城広瀬 リーグ1位で県大会出場 第64回対仙台一高定期戦(5/17 仙台二高体育館) 仙台二71-75仙台一 通算成績 33勝31敗 第63回宮城県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 (6/7~6/9 セキスイハイムスーパーアリーナ) 1回戦 仙台二104-59松山 2回戦 仙台二86-76志津川 3回戦 仙台二54-47泉館山 準々決勝 仙台二33-117聖和学園 県ベスト8(高校選手権二次大会出場権獲得) 第45回宮城県高校選手権予選二次大会(10/4 登米市総合体育館) 1回戦 仙台二75-70泉館山 順々決勝 仙台二53-85東北生文大 県ベスト8 平成26年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会仙塩地 区予選 予選リーグ(10/26セキスイハイムスーパーアリーナ) 仙台二115-64仙台育英 仙台二105-76仙台工業 順位決定一次トーナメント (10/27宮城野体育館、11/1 仙台市体育館) 仙台二72-70仙台南 仙台二105-87仙台商業 順位決定二次リーグ(11/2 宮城野体育館) 仙台二81-57生文大 仙台二46-123明成 順位決定二次トーナメント(11/5 青葉体育館) 準決勝 仙台二54-121東北 3位決定戦 仙台二44-112聖和学園 仙塩地区第4位(県新人大会第4シード獲得)

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
バドミントン部	<p>○県バドミントン選手権大会(4月25日～27日)</p> <p>男子ダブルス 田幡 光・山口 翔組 4回戦進出 小原光暁・鈴木 然組 3回戦進出</p> <p>男子シングルス 田幡 光 4回戦進出 鈴木 然、須藤僚介、小原光暁 3回戦進出</p> <p>女子ダブルス 浅沼なつみ・星佳奈恵組 黒坂日菜子・伊藤彩乃組 3回戦進出</p> <p>女子シングルス 浅沼なつみ 4回戦進出 伊藤彩乃、廣田光起、黒坂日菜子、星佳奈恵、三宅 茜、野村知穂 3回戦進出</p> <p>○県総体個人対抗(5月29日～31日)</p> <p>男子ダブルス 田幡 光・山口 翔組 小原光暁・鈴木 然組 3回戦進出</p> <p>男子シングルス 小原光暁、鈴木 然 2回戦進出</p> <p>女子ダブルス 浅沼なつみ・星佳奈恵組 4回戦進出(ベスト32) 黒坂日菜子・伊藤彩乃組 2回戦進出</p> <p>女子シングルス 浅沼なつみ 3回戦進出 黒坂日菜子 2回戦進出</p> <p>○県総体学校対抗戦(6月7日～9日)</p> <p>男子 1回戦 仙台二3-0 亘理 2回戦 仙台二0-3 松島 女子 1回戦 仙台二3-0 蔵王 2回戦 仙台二0-3 迫桜</p> <p>○県ジュニア選手権大会 (8月10日～13日 男子塩釜ガス体育館 女子仙台市宮城野体育館)</p> <p>男子ダブルス 山口 翔・勢藤啓太組 4回戦進出(ベスト64) 南元篤史・小野寺啓組 李大維・斎藤隆幸組 3回戦進出</p> <p>男子シングルス 勢藤啓太 南元篤史 山口 翔 4回戦進出</p> <p>女子ダブルス 浅沼なつみ・星佳奈恵組 5回戦進出 (ベスト32 県新人大会推薦出場)</p> <p>女子シングルス 浅沼なつみ 4回戦進出(ベスト64)</p> <p>○県新人大会 個人対抗戦 (10月24日～25日 セキスイハイムスーパーアリーナ)</p> <p>男子ダブルス 武田聖真・山口 翔組 勢藤啓太・須藤僚介組 3回戦進出</p> <p>南元篤史・小野寺啓組 2回戦進出</p> <p>男子シングルス 勢藤啓太 初戦敗退</p> <p>女子ダブルス 浅沼なつみ・星佳奈恵組 3回戦進出</p> <p>女子シングルス 浅沼なつみ 初戦敗退</p> <p>○県新人大会 学校対抗戦(11月9日～塩釜ガス体育館)</p> <p>男子学校対抗戦 1回戦 仙台二3-0 古川黎明 2回戦 仙台二3-0 明成 3回戦 仙台二0-3 塩釜</p> <p>女子学校対抗戦 1回戦 仙台二1-3 仙台東</p>	ソフトテニス部	<p>新人大会(10月31日～11月2日)</p> <p>団体戦 男子 1回戦 0-②古川工業 女子 2回戦 ②-1 明成 3回戦 0-②泉館山</p> <p>●宮城県高校総体卓球競技(6.7～9)</p> <p>・男子団体 1回戦 仙台二3-0 南郷 2回戦 仙台二3-2 白石工 3回戦 仙台二3-0 気仙沼 準々決勝 仙台二2-3 仙台育英 ベスト8</p> <p>・男子ダブルス 佐藤悠樹・橋田紘明 第3位 東北大会出場</p> <p>・男子シングルス 佐藤悠樹 第2位 東北大会・インターハイ出場</p> <p>・女子団体 2回戦 仙台二3-1 石巻北 3回戦 仙台二2-3 泉 ベスト16</p> <p>●東北選手権大会(6.27～29)</p> <p>・男子ダブルス 2回戦 橋田・佐藤悠3-2 篠木・東海林(湯沢) 3回戦 橋田・佐藤悠1-3 大槻・皆川(専大北上)ベスト16</p> <p>・男子シングルス 2回戦 佐藤悠3-0 村山(山形工業) 3回戦 佐藤悠3-0 泉(秋田) 4回戦 佐藤悠2-3 相馬(鶴岡東) ベスト16</p> <p>●国体少年の部宮城県予選会(7.12～13)</p> <p>・男子シングルス 1位 佐藤悠 (決勝リーグ5勝0敗) (国体少年男子団体出場)</p> <p>●インターハイ(8.4～9)</p> <p>・男子シングルス 1回戦 佐藤悠3-1 李 (山梨・日本航空) 2回戦 佐藤悠3-1 吉田(福岡・希望が丘) 3回戦 佐藤悠1-3 備本(京都・東山) ベスト64</p> <p>●全日本選手権大会(ジュニアの部)宮城県予選会(9.7)</p> <p>・男子シングルス 高野, 中村 1回戦敗退 太田, 目黒, 田崎, 斉藤 2回戦敗退 八月朔日 3回戦進出 ベスト64</p> <p>・女子シングルス 鈴木 1回戦敗退 菅原, 斎藤, 本間 2回戦敗退 金子 3回戦進出 ベスト64</p> <p>●宮城県高等学校新人卓球大会仙台地区予選(10.15～17)</p> <p>・男子団体 準々決勝 仙台二3-1 東北 準決勝 仙台二1-3 仙台三 第3位</p> <p>・男子ダブルス 予選通過 大江・八月朔日</p> <p>・男子シングルス 予選通過 斉藤, 吉川, 横井, 目黒, 田崎, 八月朔日, 菊地, 太田, 高野, 中村, 大江</p> <p>・女子団体 準々決勝 仙台二0-3 聖ウルスラ 順位決定戦 仙台二3-1 泉 仙台二3-1 仙台三 第5位</p> <p>・女子ダブルス 予選通過 金子・桑机</p> <p>・女子シングルス 予選通過 菅原, 鈴木, 金子, 斎藤, 三島</p> <p>●宮城県高等学校新人卓球大会(11.6～8)</p> <p>・男子団体 2回戦 仙台二3-0 角田 3回戦 仙台二0-3 聖和</p> <p>・男子ダブルス 大江・八月朔日 1回戦敗退</p> <p>・男子シングルス 吉川, 斎藤 1回戦敗退 中村, 大江, 太田, 高野, 田崎, 目黒, 菊地 2回戦敗退 横井 3回戦進出 ベスト64 八月朔日 4回戦進出 ベスト32</p> <p>・女子団体 2回戦 仙台二3-1 仙台二華 3回戦 仙台二3-1 岩ヶ崎 準々決勝 仙台二0-3 聖和 ベスト8</p> <p>・女子ダブルス 金子・桑机 1回戦敗退</p> <p>・女子シングルス 三島 1回戦敗退 菅原, 斎藤, 金子, 鈴木 2回戦敗退</p>
弓道部	<p>第11回仙台二高・仙台一高定期戦(4月20日(日)) 5人制団体で9戦実施 1勝8敗で敗退 通算二高6勝一高5勝</p> <p>第34回仙台南弓道大会(4月29日(祝)) 男子の部 第2位 井深・加藤・吉田 女子の部 第2位 奈良・小野・谷</p> <p>第30回仙塩地区高等学校春季弓道大会 (5月16日(金)・17日(土))宮城県武道館弓道場・宮城県弓道場)</p> <p>兼 宮城県高校総体弓道競技大会仙塩地区予選会 個人県大会出場予選会 男子12射7中以上 女子12射6中以上</p> <p>男子2名 吉田・辻本 通過 女子1名 谷 通過</p> <p>宮城県高校総体弓道競技大会 (6月7日(土)～9日(月)宮城県弓道場)</p> <p>男子団体 ベスト16 女子団体 ベスト16 男子個人 射道優秀賞 吉田拓真</p>	卓球部	

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
剣 道 部	<p>3 回戦 対仙台育英 0-4 敗退 ベスト 8 女子団体 1 回戦 対宮城広瀬 3-0 2 回戦 対仙台一 2-1 3 回戦 対仙台西 0-1 敗退 ベスト 8 宮城県高校新人大会(11月13日~15日 名取市民体育館) 男子団体予選リーグ 対明成 1-0 対米山 3-0 予選リーグ 1 位 決勝トーナメント 1 回戦 シード 2 回戦 対仙台三桜 3-0 準々決勝 対佐沼 1-0 準決勝 対仙台育英 0-1 敗退 (第 3 位 東北選抜大会出場)</p> <p>女子団体 予選リーグ 対学院榴ヶ丘 1-1 本数勝ち 対宮城広瀬 3-1 決勝トーナメント 1 回戦 対仙台三 1-3 敗退(ベスト16) 男子個人 千葉琢史 3 回戦敗退 中居捷哉 1 回戦敗退 女子個人 土橋美燈里 1 回戦敗退 佐藤聖奈 2 回戦敗退 東北高等学校選抜剣道大会(2月14日 青森県武道館) 男子団体予選リーグ 対聖光学院(福島) 0-2 で負け 対山本学園(山形) 1-1 本数負け 予選リーグ敗退</p>	弓 道 部	<p>仙台市市民大会(8月24日(日) 仙台泉弓道場) 女子個人 優勝 半田 結花 仙塩地区高等学校秋季弓道大会 (10月17日(金)・18日(土) 宮城県武道館弓道場・宮城県弓道場) 兼 宮城県高校新人弓道競技大会仙塩地区予選会 個人県大会出場予選会 男子12射6中以上 女子12射5中以上 男子3名 丹治・安藤・吉田 通過 女子3名 谷・吉野・日野 通過 宮城県高校新人弓道競技大会 (10月31日(金)~11月2日(日)宮城県弓道場) 男子団体・女子団体 2次予選敗退 女子個人 吉野里穂 4位 東北選抜大会出場</p>
フェンシング部	<p>●第63回宮城県高等学校総合体育大会フェンシング競技 (6/6~6/9 気仙沼市総合体育館) 男子個人フルール 第3位 酒井皓平(東北大会出場) 第6位 大塚純平 男子個人エペ 第4位 大塚純平 男子個人サーブル 第1位 櫻井慎也(東北大会・インターハイ出場) 第3位 佐々木隆紘(東北大会出場) 第4位 星優平 男子団体フルール 第2位(酒井皓平、櫻井慎也、新田能隆、原田海、星優平) 東北大会出場 1 回戦 V-1(仙台南) 準決勝 V-2(仙台南) 決勝 1-V(気仙沼) 女子個人フルール 第2位 川元美咲(東北大会・インターハイ出場) 第4位 土谷智恵理(東北大会出場) 女子個人エペ 第2位 阿部愛(東北大会出場) 第4位 川元美咲 女子個人サーブル 第1位 土谷智恵理(東北大会・インターハイ出場) 第4位 宮本真緒 女子団体フルール 第2位 (川元美咲、阿部愛、土屋智恵理、手代木さつき、宮本真緒) 準決勝 V-2(仙台南) 決勝 2-V(気仙沼) ●第52回東北高等学校フェンシング選手権大会 (6/27~6/30 宮城県総合運動公園総合体育館) 男子個人フルール 第2位 酒井皓平 女子個人フルール 第6位 土谷智恵理 女子個人エペ 第2位 阿部愛 男子個人サーブル 第4位 櫻井慎也 第8位 佐々木隆紘 学校対抗フルール 男子(酒井皓平、櫻井慎也、大塚純平、原田海、星優平) 1 回戦 3-V(川俣(福島)) 学校対抗フルール 女子 第3位 (川元美咲、阿部愛、土谷智恵理、澁谷菜由、宮本真緒) 1 回戦 V-4(横手(秋田)) 2 回戦 V-2(田名部(青森)) 準決勝 1-V(仙台三)</p> <p>●第69回国民体育大会フェンシング競技 (7/5 グランディ21サブアリーナ) 宮城県代表選手選考会少年の部最終予選 少年の部 女子フルール 第5位 工藤うみ ●平成26年度全国高等学校総合体育大会 (8/1~8/5 神奈川県立体育センタースポーツアリーナ) フェンシング競技 男子個人サーブル 櫻井慎也 予選リーグ 2勝2敗 予選トーナメント 1 回戦 6-V15 村岡(福岡魁誠・福岡)</p>	柔 道 部	<p>第117回仙塩地区高等学校柔道大会 (平成26年4月27日(日) 宮城県武道館) 90kg級 3242 山田 晃誠 1 回戦 渡辺真也<仙台育英> 1本負け 81kg級 2305 大久保智瑠 1 回戦 大内直弥<仙台育英> 1本負け 団体戦 仙台二高仙台三高混成チーム対松島高校 2-1 敗退 <大将 山田晃誠 対 島貫拓<松島> 1本勝ち絞め技> 第120回仙台二高一高定期戦(平成26年5月17日 仙台二高柔道場) 三人勝抜戦 先鋒 山田晃誠 優勢勝ち 大友<一高> 僅差負け 小形<一高> 中堅 大久保智瑠 一本負け 小形<一高> 大将 菅原優介 一本負け 小形<一高> 第63回宮城県高等学校総合体育大会柔道競技大会 (平成26年6月7日(土)~9日(日) 中新田体育館) 男子81kg級 3242 山田 晃誠 1 回戦 井上麻生<松山高> 1本負け 男子81kg級 2305 大久保智瑠 1 回戦 其川賢太<仙台育英> 1本負け 第118回仙塩地区高等学校柔道大会 (平成26年10月13日(日) 宮城県武道館) 81kg級 2305 大久保智瑠 1 回戦 其川賢太<仙台育英> 1本負け 66kg級 2315 佐々木健丞 棄権 第64回宮城県高等学校柔道新人大会 (平成26年11月1日(土)~3日(月) 宮城県武道館) 81kg級 2305 大久保智瑠 1 回戦 遠藤奨弥<松島> 1本負け 66kg級 2315 佐々木健丞 棄権</p>
		剣 道 部	<p>仙塩支部高校剣道大会(5月10日、11日 宮城県武道館) 男子団体予選リーグ 対泉館山 3-0 対多賀城 3-0 予選リーグ 1 位 決勝トーナメント 1 回戦 シード 2 回戦 対宮城広瀬 1-1 本数勝ち 準々決勝 対仙 0-3 敗退ベスト 8 女子団体予選リーグ 対富谷 2-2 本数勝ち 対仙台一 4-0 予選リーグ 1 位 決勝トーナメント 1 回戦 シード 2 回戦 対仙台商業 4-0 準々決勝 対仙台育英 0-4 敗退 ベスト 8 県高校総体(6月7日~9日 青葉体育館) 男子団体予選リーグ 対宮城広瀬 4-0 対石巻 4-1 予選リーグ 1 位 決勝トーナメント 1 回戦 シード 2 回戦 対多賀城 4-0 準々決勝 対仙台三 1-3 敗退 (ベスト 8) 女子団体予選リーグ 対富谷 3-0 対岩ヶ崎 3-1 予選リーグ 1 位 決勝トーナメント 1 回戦 対ドミニコ学院 1-4 敗退(ベスト16) 男子個人 中居捷俊 3 回戦敗退 齋藤和哉 2 回戦敗退 女子個人 小松美凜 2 回戦敗退 石黒想子 準々決勝敗退(ベスト 8 東北大会出場) 国体予選会(7月5日 宮城県武道館) 男子個人戦 中居捷哉 4 回戦敗退 ベスト16 千葉琢史 2 回戦敗退 女子個人戦 土橋美燈里 1 回戦敗退 佐藤聖奈 2 回戦敗退 高体連剣道専門部仙塩支部新人大会 (8月17日 宮城野区体育館) 男子団体 1 回戦 対松島 5-0 2 回戦 対聖和 5-0</p>

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
ヨ ッ ト 部	<p>○男子F J 級デュエット競技 第7位</p> <p>■国体予選(7月19日~20日他 七ヶ浜町小浜港他)</p> <p>○少年男子セーリングスピリッツ級</p> <p>・山田和益 秋山雄飛 第1位</p> <p>○少年男子シーホッパー級SR</p> <p>・秋山雄飛 第2位</p> <p>○少年女子シーホッパー級SR</p> <p>・大庭彩花 第1位</p> <p>→国民体育大会【長崎国体】出場権獲得!</p> <p>■全日本F J 級ヨット選手権大会 (7月25日~27日 茨城県土浦市)</p> <p>・1770艇(山田和益・秋山雄飛) 第11位</p> <p>■全国高校総体【インターハイ】 (8月4日~8日 神奈川県藤沢市)</p> <p>○男子F J 級ソロ競技</p> <p>・1770艇(山田和益・秋山雄飛) 第29位</p> <p>○男子F J 級デュエット競技 第21位</p> <p>■全日本シーホッパー級SRヨット選手権大会 (8月30日~31日 北海道小樽市)</p> <p>・1324艇(大庭彩花) 第7位</p> <p>■宮城県高等学校ヨット新人大会 (9月6日~7日 七ヶ浜町小浜港)</p> <p>○男子F J 級</p> <p>・1558艇(秋山雄飛・島中洸哉・藤田悠生) 第1位</p> <p>■第69回国民体育大会セーリング競技 (10月12日~16日 長崎県長崎市)</p> <p>○少年女子シーホッパー級SR</p> <p>・大庭彩花 第16位</p>	女子個人フルーレ 川元美咲 予選リーグ3勝2敗 予選トーナメント1回戦 9-V15 吉崎(翔陽・熊本) 女子個人フルーレ 土谷智恵理 予選リーグ2勝2敗 予選トーナメント1回戦 9-V15 白峰(三島・愛媛) ●平成26年度仙台市民総合体育大会 (10/4~10/5 秋保体育館) フェンシング競技 男子個人フルーレ シニア 第2位 管颯輝 団体フルーレ 第2位 仙台二高Bチーム(岡村、三浦、猪狩、関川、山田) 女子個人フルーレ シニア 第2位 工藤うみ 第3位 佐竹望愛 佐藤杏瑠菜 団体フルーレ 第2位 仙台二高Bチーム(小野寺、佐竹、佐藤、只野) 第3位 仙台二高Aチーム(工藤、後藤、金、伊藤、今野) ●平成26年度宮城県高等学校新人大会 (10/31~11/2 泉総合運動場体育館) フェンシング競技 個人対抗フルーレ 男子 第3位 猪狩すばる 女子 第2位 工藤うみ 第6位 後藤彩希 学校対抗フルーレ 男子 第3位 (岡村、管、伊藤、猪狩、大川) 1回戦 V-4 (仙台一) 2回戦 1-V (仙台三) シード順位決定戦 1-V (仙台) 女子 第2位 (工藤、小野寺、後藤、金、佐竹) 2回戦 V-2 (仙台一) 決勝戦 4-V (気仙沼) ●2014年度第3回全国サールプレンジカップ団体戦 (11/15~11/16 グランディ21サブアリーナ) 男子団体 第5位 (伊藤、岡村、大友) 女子団体 第2位 (工藤、金、佐藤、今野) 女子個人 第2位 工藤うみ ●第22回JOCジュニア・オリンピック・カップ フェンシング大会 (1/8~1/11 駒澤オリンピック公園総合運動場体育館) 宮城県協会推薦枠による出場 カデの部 男子フルーレ 猪狩すばる 女子フルーレ 只野真由 女子エペ 只野真由 女子サーブル 今野愛 ジュニアの部 男子エペ 小泉和人 男子サーブル 伊藤大河 女子フルーレ 工藤うみ 女子エペ 小野寺晴香 後藤彩希 女子サーブル 工藤うみ 金理紗子 ●平成26年度宮城県フェンシング選抜選手権大会 (1/16~1/18 仙台市体育館) 男子学校対抗 第4位 小泉、岡村、管、猪狩、大川 女子学校対抗 第2位 工藤、小野寺、後藤、佐竹、只野 男子サーブル 第1位 伊藤大河 女子エペ 第1位 小野寺晴香 第3位 只野真由 ●平成26年度仙台市フェンシング選手権 第2回フルーレ杯 (2/7 仙台市秋保体育館) 女子 第2位 工藤うみ 第5位 後藤彩希 ●平成26年度仙台市フェンシング選手権 第24回サーブル杯 (2/11 仙台市秋保体育館) 男子 第5位 伊藤大河 女子 第5位 伊藤芽唯	
空 手 道 部	平成26年度宮城県高等学校新人大会空手道競技会 (11月1日~3日 石巻市総合体育館) 女子個人形 第2位 安住伊代(東北大会出場)	フ ェ ン シ ン グ 部	●2014年度第3回全国サールプレンジカップ団体戦 (11/15~11/16 グランディ21サブアリーナ) 男子団体 第5位 (伊藤、岡村、大友) 女子団体 第2位 (工藤、金、佐藤、今野) 女子個人 第2位 工藤うみ ●第22回JOCジュニア・オリンピック・カップ フェンシング大会 (1/8~1/11 駒澤オリンピック公園総合運動場体育館) 宮城県協会推薦枠による出場 カデの部 男子フルーレ 猪狩すばる 女子フルーレ 只野真由 女子エペ 只野真由 女子サーブル 今野愛 ジュニアの部 男子エペ 小泉和人 男子サーブル 伊藤大河 女子フルーレ 工藤うみ 女子エペ 小野寺晴香 後藤彩希 女子サーブル 工藤うみ 金理紗子 ●平成26年度宮城県フェンシング選抜選手権大会 (1/16~1/18 仙台市体育館) 男子学校対抗 第4位 小泉、岡村、管、猪狩、大川 女子学校対抗 第2位 工藤、小野寺、後藤、佐竹、只野 男子サーブル 第1位 伊藤大河 女子エペ 第1位 小野寺晴香 第3位 只野真由 ●平成26年度仙台市フェンシング選手権 第2回フルーレ杯 (2/7 仙台市秋保体育館) 女子 第2位 工藤うみ 第5位 後藤彩希 ●平成26年度仙台市フェンシング選手権 第24回サーブル杯 (2/11 仙台市秋保体育館) 男子 第5位 伊藤大河 女子 第5位 伊藤芽唯
ス キ ー 部	<p>○第64回宮城県高等学校総合体育大会スキー競技会 オニコウベスキー場 平成27年1月9日(金)~11日(日)</p> <p>男子GSL 第16位 高橋達彦 第17位 和田直生 第18位 大内健太郎</p> <p>男子SL 第13位 高橋達彦 第15位 和田直生 第17位 大内健太郎</p> <p>女子GSL 第3位 鈴木響子 第5位 秋山悠歩 女子SL 第2位 鈴木響子 第4位 秋山悠歩 女子総合 第2位 (鈴木響子 インターハイ出場・鈴木響子、秋山悠歩 東北大会出場)</p> <p>○第70回国民体育大会冬期大会スキー競技会宮城県予選会 オニコウベスキー場 平成27年1月16日(金)~18日(日)</p> <p>男子GSL 第12位 和田直生 DF 高橋達彦 DF 大内健太郎</p> <p>女子GSL 第4位 鈴木響子 第5位 秋山悠歩 (鈴木響子 国体出場)</p> <p>○第64回全国高等学校総合体育大会スキー競技会 秋田県花輪スキー場 平成27年2月6日(金)~10日(月)</p> <p>女子GSL 第79位 鈴木響子 女子SL 第76位 鈴木響子</p> <p>○第37回東北高等学校スキー大会 青森県大鰐スキー場 平成27年1月23日(金)~25日(日)</p> <p>女子GSL 第33位 鈴木響子 第42位 秋山悠歩 女子SL 第36位 鈴木響子 第43位 秋山悠歩</p> <p>○第70回国民体育大会冬期大会スキー競技会 群馬県片品スキー場 平成27年2月20日(金)~23(月)</p> <p>女子GSL DF 鈴木響子</p> <p>○第64回宮城県高等学校スキー新人大会 オニコウベスキー場 平成27年3月13日(金)~15日(日)</p> <p>男子GSL 第9位 和田直生 第10位 高橋達彦 第11位 大内健太郎</p> <p>男子SL 第8位 和田直生 第10位 大内健太郎 DF 高橋達彦</p> <p>女子GSL 第3位 秋山悠歩 女子SL 第2位 秋山悠歩</p> <p>○第27回全国高校選抜スキー大会 富良野スキー場</p> <p>女子GSL 第86位 鈴木響子 女子SL 第69位 鈴木響子</p>	山 岳 部 宮城県高校総体(6月7日~9日 於北蔵王連峰) 男子5位 宮城県新人大会(10月10日~12日 於大東岳) 男子4位	
馬 術 部	<p>第33回東北高等学校馬術選手権大会(5/25~26) 個人戦第1位 赤間元弥</p> <p>第25回全日本高等学校馬術選手権大会(9/5~7) 総合第3位 赤間元弥</p>	ヨ ッ ト 部	<p>■宮城県高校総体(5月31日~6月1日 七ヶ浜町小浜港)</p> <p>○男子F J 級ソロ競技</p> <p>・1770艇(山田和益・秋山雄飛) 第4位</p> <p>→東北大会出場権獲得</p> <p>○男子F J 級デュエット競技 第3位</p> <p>■東北大会(6月13日~15日 秋田県由利本荘市)</p> <p>○男子F J 級ソロ競技</p> <p>・1770艇(山田和益・秋山雄飛) 第6位</p> <p>→全国高校総体【インターハイ】出場権獲得!</p>

部活動の記録／学芸部成績

部 名	成 績
化 学 部	<p>第22回ノーベル物理学賞への第一歩 (2014/4/7) ・投稿 (ポーランドアカデミー) 3年 金あおい ISEF2014 (国際大会 in ロサンゼルス) (2014/5/17) エネルギー・運輸部門 グランドアワード2等賞 欧州原子核研究機構 (CERN) 賞、アメリカ化学会賞佳作 3年 山中美慧 Googleサイエンスフェアin東北 2014出展 (2014/8/16) 2作品 出品 「パニリンの合成」高瀬理人、萩原 駆 ファイナリスト (ベスト15) 選出 「砂山シミュレーション」遠藤意紘 ファイナリスト選出 東北大学賞 全国高校化学グランプリ2014 (2014/8/22~23) (全国大会入賞) 金賞 石垣貴史 (全国6~10位) 東北支部長賞 (東北トップ10位内) 3年 鈴木透馬、3年 丹野翔大 第47回国際化学オリンピック (2014/9/28) 日本代表候補認定 2年 高瀬 理人 22nd international Competition First Step to Nobel Prize in Physics (2014/10/1) (CATEGORY: RESEARCH PAPERS) ポーランドアカデミー主催 HONOURABLE MENTION (佳作入選) Aoi Kon (金あおい) 第11回高校化学グランドコンテスト (2014/10/26) 大阪市立大学賞 (全国4位相当) 2年 萩原 駆、2年 高瀬理人「パニリンの新しい全合成の試み〜設計・立案から全合成へ〜」 第67回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (2014/11/6) 化学部門 優秀賞「テルミット反応における鉄の生成について」 芳賀亮多、新澤智行、須藤 武 優秀賞「翅によるエネルギー生産の可能性」 伊藤秋香理、森谷 茜 優秀賞「打ち水の研究」 吉田恰王、鈴木直輝 優秀賞「ルミノール反応について」 鈴木綾乃、朱 博琳、佐藤琴音 優秀賞「冷風力発電」 金 振彪、稲垣康太、佐々木健生 優秀賞「パニリンの新規全合成」 萩原 駆、高瀬理人 ポスター部門 最優秀賞「砂山シミュレーション〜揺れによる斜面崩壊地図〜 2年 遠藤 意紘」(来年度全国総合文化祭滋賀大会に宮城県代表としてポスター部門に出場) 第58回日本学生科学賞 宮城県審査 (2014/11/5) 最優秀賞 (ミヤギテレビ賞) 萩原 駆、高瀬理人 (全国大会出場) 第12回高校生科学技術チャレンジ (JSEC2014) 科学技術政策担当大臣賞 遠藤意紘 (Intel ISEF 2015 米国、国際大会進出)</p>
物 理 部	<p>学都「仙台・宮城」サイエンスディ2014 (2014/7/20) 「身近な物を使った物理の実験」 仙台市天文台台長賞受賞 第38回全国高等学校総合文化祭自然科学部門 (2014/7/28~7/30) 文化連盟賞受賞 「ゼーベック効果に関する研究」石崎梨理、小室 源、伊藤 峻、芳賀良多、二木佐和子 第67回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (2014/11/6) 最優秀賞「量子消しゴム実験における偏光板と干渉縞の関係」 石崎梨理 物理部門で宮城県代表に選出され、来年の全国総文祭に出場決定 物理部会長賞「メガホンの形状と音の大きさについて」 田母神さくら 優秀賞「イスタンブールのお盆に関する実験と考察」 小室源、伊藤峻、芳賀亮多 優秀賞「圧電素子による電圧の発生と加えた力の関係について」 佐藤嘉一、渥美拓土、塩入惇 優秀賞「気柱共鳴管を用いた音速の測定」 木下春貴、藤井菜穂、船山恰 優秀賞「弾性力及び仰角による物体の斜方投射」 菊地真之、野口宙、佐藤暖 優秀賞「ガウス加速器のさまざまな条件下での加速度の測定」 津田拓視、長南遼</p>
生 物 部	<p>東北バイオ教育プロジェクト 株式会社リバネス 協和発酵キリン株式会社 第3回実験教室 (平成26年6月10日) 「バイオフィルムによる河川の水質浄化研究」 ※硝化細菌の担体による培養 日本動物学会第85回仙台大会 (平成26年9月13日) 高校生によるポスターセッション 「河川における自然浄化について」 第67回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (平成26年11月6日) 「河川における硝化作用の光の有無による変化」優秀賞 2822 高山ほの香 2839 山田春樹</p>
囲 碁 部	<p>2014 第8回全国選抜囲碁選抜大会 (3月22-23) 団体5位入賞 団体 (東北代表): 伊藤佳樹 (主将)、千田渉太 (副将)、猪股直透 (三将) 九路盤大会: 全国5位入賞 千田渉太 (2年連続)、8位 伊藤佳樹 個人戦: 猪股直透 (14位) 第38回全国高校総合文化祭囲碁部門 (県代表決定戦・4月14・仙台二高) 宮城県代表: 主将: 猪股直透 (2年)・副将: (3年) 今野律人 個人戦宮城県代表: 伊藤佳樹 (2年) 第38回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権宮城県大会 (6/26 仙台三高) 団体 優勝 仙台二高 主将: 猪股直透 (2年)、副将: 千田渉太 (3年)、三将: 今野律人 (3年) 第38回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権宮城県大会・個人代表決定戦 (6/29 仙二高北陵館 6/30 宮一高秋桜会館) 猪股直透 (2年)・千田渉太 (3年) 全国大会出場 第38回宮城県高校囲碁段級位認定戦 A組 優勝 猪股直透 (2年) 第38回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 (7/22~24 日本棋院) 団体 優勝 (全国制覇) 仙台二高 (東北男子初) 主将: 千田渉太 (3年)、副将: 伊藤佳樹 (2年)、三将: 猪股直透 (2年)、補欠: 今野律人 (3年) 第38回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 (7/22~24 日本棋院) 宮城県個人代表 猪股直透 予選リーグ2勝1敗 同 千田渉太 予選リーグ2勝1敗 第38回全国高等学校総合文化祭囲碁部門 (7/30~30 茨城県水戸市) 団体戦 全国22位 (主将: 猪股直透 六段、副将: 今野律人 六段) 個人戦 全国20位 (伊藤佳樹 六段)</p>

部 名	成 績
囲 碁 部	<p>第15回宮城県高校囲碁九路盤大会 (10/18 県民会館) 1位 猪股直透 (2年)、5位 伊藤佳樹 (2年)、20位 後藤章吾 (1年)</p> <p>第28回東北地区高等学校囲碁選手権大会 (11/7~8 宮城県作並温泉) 男子 団体優勝 (宮城県代表チーム 5勝0敗 主将 伊藤佳樹:副将 猪股直透) 男子 主将戦 第1位 伊藤佳樹、副将戦 1位 猪股直透 以上、個人戦で上記2名が3月21-22日開催の全国選抜大会に出場決定、また団体戦3名も出場決定。</p>
吹 奏 楽 部	<p>宮城県管打楽器ソロコンテスト (6月 中新田パッハホール) 金賞 河北新報社賞 3年猪股 (クラリネット)</p> <p>第27回定期演奏会 (5月 仙台市民会館)</p> <p>全日本吹奏楽コンクール第57回宮城県大会予選仙台青葉・泉地区大会 (7月 イズミティ21) 高等学校の部 銀賞</p> <p>浦谷音楽祭招待演奏 (11/16 浦谷町勤労福祉センター)</p> <p>第48回アンサンブルコンテスト青葉地区大会 (12/7 東北福祉大学けやきホール) ホルン4重奏 金賞・代表 クラリネット5重奏 金賞 サックス4重奏 銀賞 パリチューバ4重奏 銀賞</p> <p>第48回アンサンブルコンテスト宮城県大会 (1/11 萩ホール) ホルン4重奏 銀賞</p> <p>JBA主催全日本中学生・高校生ソロコンテスト南東北大会 (12/27 宮城野区パトナホール) 金賞 (2年 Sax、2年 piano)</p> <p>平成27年度Shobi高校生アンサンブルコンテスト (1/25 尚美パリオホール) 木管4重奏 本選出場 優良賞</p> <p>プラスフェスタ多摩2015 (バルティノン多摩)</p> <p>東日本大震災復興記念チャリティーコンサート招待演奏 (3/28)</p>
合 唱 部	<p>第66回全日本合唱コンクール宮城県大会 (8月30日) 高等学校の部 銀賞</p> <p>第26回宮城県合唱アンサンブルコンテスト (2月7日) 高等学校の部 銀賞</p>
書 道 部	<p>ふれあい書画展 (6/3~28) 筆都大賞 山内美波</p> <p>宮城県高校生選抜書展 (毎日書道展) (9/12~17) 東北電力賞 大場美波、齋藤理彩子 特選 山内美波</p> <p>63回宮城県高等学校書道展覧会 (12/2~7) 漢字部門:推薦賞 齋藤理彩子、金賞 零石伽耶 仮名部門:特選 山内美波 仮名漢字部門:推薦賞 松田駿介、金賞 伊藤萌菜 篆刻刻字部門:推薦賞 大場美波、特選 伊藤美琴 小字部門:特選 堀田恰奈、有馬明香</p> <p>日本刻字協会主催 第9回高校生刻字展 (2/19) 準大賞 齋藤理彩子</p>
将 棋 部	<p>第27回全国高等学校将棋竜王戦 宮城県予選 (7月5日) 1位 2年 渡邊剛史 全国大会へ</p> <p>宮城県高等学校将棋新人大会 (11月8日) 男子個人 A組 2位 2年 渡邊剛史 東北大会、全国大会出場 A組 3位 1年 渡邊知樹 東北大会出場 女子個人 2年 邑松友梨 東北大会、全国大会出場</p>

平成25年	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年	平成19年	平成18年	平成17年	平成16年	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年																					
4/10	4/9	4/29	3/19	3/10	3/7	2/22	1/22	1/22	1/22	1/22	1/22	1/22	1/22																					
菅井剛彦殿	花房和浩殿	宇田尚殿	伊藤武殿	兼子久殿	村木二彦殿	中宮勇一殿	常盤新一殿	鈴木尚典殿	菅原浩殿	小宮山俊夫殿	高橋敏男殿	赤羽根敏夫殿	藤田紘殿	池田賢殿	名川敏夫殿	山内明善殿	小山寿一殿	桑島二男殿	佐藤光彦殿	長田道則殿	高橋清光殿	上島誠殿	狩野研次郎殿	佐々木嗣郎殿	今西義次殿	内海弘殿	1/10	7/1	平成12年					
高5回	高33回	高1回	中33回	中44回	中40回	中43回	高2回	高47回	高8回	高12回	高8回	高1回	高14回	高5回	高1回	高19回	中42回	中46回	高15回	高31回	高18回	中45回	高19回	中40回	中44回	中45回	高4回							
4/4	4/4	4/3	4/27	3/21	3/17	3/3	2/1	2/24	2/2	2/31	1/27	1/25	1/3	1/3	1/3	1/3	1/31	1/28	1/28	1/27	1/10	1/10	1/7	1/22	9/24	9/22	9/9	8/9	6/27	6/22	6/16	6/4	5/31	5/2
二宮篤朗殿	木村進殿	奈良仁殿	加藤俊雄殿	柳尾淑孝殿	杉目哲夫殿	小林明治殿	立木孝殿	吉田治殿	斎藤茂芳殿	大場明殿	今野信治殿	白鳥郁男殿	角田達也殿	小川和彦殿	小野寺謙二郎殿	阿部徳之助殿	大和田明殿	矢野浩一郎殿	永野行雄殿	山川祥之殿	高橋稔殿	柳沢良紘殿	佐久間敏彦殿	沢田和博殿	樋渡恵一殿	佐々木和夫殿	早坂正隆殿	浦山功殿	毛利達雄殿	中兼完爾殿	生出浩哉殿	柴田紀元殿	伊藤尚夫殿	菊地進殿
高6回	高5回	高14回	中41回	高14回	高7回	高10回	中45回	高10回	中47回	高47回	高19回	中42回	中46回	中4回	中47回	中45回	高35回	高2回	高3回	中45回	高7回	高10回	高8回	中43回	高14回	高7回	高3回	中42回	高14回	高6回	高26回	中42回	高1回	高6回

会員計報
 (平成27年5月分まで)

11/17	11/16	11/6	11/4	11/2	11/2	10/27	10/18	10/8	10/5	10/3	10/1	9/24	9/10	9/6	8/28	8/23	8/20	8/17	8/14	8/1	7/31	7/12	7/11	7/6	7/6	6/10	6/6	6/6	5/26	5/20	5/18	5/16	4/16	4/14	4/9
館野	松岡	鈴木	高橋	吉田	庄子	阿部	太田	高山	小松	三浦	挽地	三浦	菊地	三崎	阿部	石塚	金	仁科	中林	相沢	唐澤	尾形	篠田	伊勢	赤林	佐藤	水野	大宮	小野	芳賀	木内	村井	中嶋	我妻	小山
勝雄殿	正殿	滋殿	晃殿	正明殿	文一殿	公雄殿	勝殿	正樹殿	民朗殿	達殿	明殿	弘殿	幹殿	英治殿	寿雄殿	喬殿	祖雄殿	博之殿	昭太郎殿	徳寿殿	勝夫殿	朝可殿	博殿	新二殿	宏殿	和雄殿	隆善殿	利之殿	福次殿	陸男殿	陽平殿	啓殿	俊雄殿	陸郎殿	克彦殿
高7回	中43回	高3回	高3回	中44回	高7回	高22回	高11回	高22回	高7回	高11回	高4回	高19回	中44回	高4回	中40回	高1回	高4回	中47回	高2回	高4回	高11回	高2回	高8回	中34回	中45回	高3回	中37回	高11回	高10回	高8回	高53回	高9回	中47回	中45回	高14回

今春の人事異動

▼転出された先生方▲

阿部 文男 教頭 (船岡支援学校 校長)

渡邊 重夫 主幹教諭(地・公) (気仙沼向洋高校 教頭)

佐藤 利幸 教諭(数学) (仙台第三高校)

池田 和正 教諭(理科) (名取高校)

鈴木 正樹 教諭(理科) (総合教育センター)

長谷川美枝子 実習講師 (宮城第一高校)

大岩 昌弘 総括主幹(事務次長) (塩釜高校)

加藤 友香 主任主査 (富谷高校主幹(事務次長))

11/20 大森 盛夫殿 中45回

12/3 尾高 惇彦殿 中45回

12/22 斉藤永三郎殿 高11回

12/26 加藤 芳夫殿 中40回

平成27年

1/20 鳥越 重雄殿 高7回

1/21 安居院弘輔殿 中45回

2/8 児玉 光久殿 高11回

2/19 白庭 瑞夫殿 高11回

3/6 熊谷 芳郎殿 高13回

3/14 宇田 裕殿 高11回

3/30 大久 宗殿 高7回

5/22 高橋 利夫殿 高3回

死亡日不明 原田 哲殿 高19回

大森 絵里 主事 (大崎市立古川西中学校)

三浦 哲雄 技師(庁務) (再任用 向山高校へ)

梅田 茂 非常勤講師(理科) (任期満了)

菊田 翔太 非常勤講師(保体) (任期満了 県農業高校へ)

鈴木 順一 情報化支援員 (任期満了)

▼転入された先生方▲

牛来 生人 教頭(数学) (石巻高校)

安藤 欣也 教諭(理科) (仙台南高校)

林 宣子 教諭(理科) (泉館山高校)

村山 智明 教諭(数学) (広島県交流(派遣満了))

金森信之介 教諭(地・公) (気仙沼西高校)

那須麻衣子 実習助手 (古川高校)

松田 岳洋 講師(66)(理科) (新規任用・欠員代替)

富盛 涉 講師(数学) (継続・育休代替)

村上 丈晴 主幹(事務次長) (松島自然の家)

佐藤 直美 主任主査 (塩釜高校)

安齋 翔太 主事 (新規採用)

山本 照夫 非常勤講師(理科) (6H 新規任用)

仙台二高同窓会メーリングリストの利用について

同窓会では、会員が相互に情報交換を行うために、メーリングリスト機能を利用していましたが、5月より「Yahoo」から「Google」に移行しました。

利用して頂くには、事前の登録が必要になります。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<https://sites.google.com/site/sendai2dousoukai/>

なお、「Yahoo」をご利用されていた方も、改めて「Google」での登録を行って下さい。



鎌田 秀和 非常勤講師(保体) (12H 新規任用)

品川 喜久 臨時業務補助 (新規任用)

及川 恭男 情報化支援員 (週2日 1日6時間)

▼昇任された先生方▲

南雲 芳則 主幹教諭(保体)

▼退職された先生方▲

渡辺 尚 教諭(理科) (宮城教育大学)

二高への交通の便く仙台駅前から>

▶仙台市営バス・・・仙台駅前バスプール16番から730、739系統『二高・県美術館前』下車、運賃180円

▶仙台市営市内観光循環バス『るーぶる仙台』・・・仙台駅前バスプール15-3番、運賃(1回券)260円、(1日券)620円。(但し、瑞鳳殿、大橋、青葉山、八幡神社等を大きく経由しています。)

編集後記

今回の会報では、仙台二乗馬部や甲子園出場、北陵会の生い立ちなど、多岐にわたる寄稿が大変興味深く、仙台二中・二高の百十余年の歴史を感じます。

また、海外にまで至る各支部の活動報告が多く寄せられているのを実感できる内容になっているほか、高64回の深松さんからの寄稿があるなど、若手の参加者が増えてきているように感じられます。

同窓会の活性化で蒔いた種が、少しずつ芽吹いてきたのかも知れません。

関 裕介(高38回)